

KENWOOD

MDV-D502BTW MDV-D502BT

AV Navigation System

取扱説明書<詳細版>

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



目次

はじめに

安全上のご注意 (必ずお守りください) ..6
使用上のご注意.....9
本書の読みかた.....12
本書の構成.....12

基本操作

各部の名称とはたらき.....13
基本操作.....15
電源を入れる / 切る.....15
電源オン.....15
電源オフ.....15
フロントパネルの角度を調整する.....15
視野角を調整する.....15
画面 / リストの操作.....16
画面表示のオン / オフ.....17
画面表示をオフにする.....17
画面表示をオンにする.....17
オートアンテナを伸ばす / しまう.....17
画面の明るさを調整する.....18
案内音量を調整する.....18
HOME (ホーム) 画面の構成.....19
マイメニューを使う.....20
ショートカットボタンに機能を登録する.....20

ナビゲーション

地図の見かたと操作.....21
現在地図画面の見かた.....21
地図の縮尺を変える.....22
市街地図について.....22
地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える.....22
地図を 2 画面表示する.....23
地図をスクロールする.....24
スクロール地図画面の見かた.....24
マップクリップを利用する.....26
ナビゲーションの流れ.....27
自宅を登録する / 自宅に帰る.....28
自宅を登録する.....28
自宅を変更する.....28
自宅へ帰る.....28
行き先を探す.....29
目的地検索画面で探す.....29
名称から探す.....30
エリアを指定して検索する.....31
ジャンルで絞り込む.....32
ジャンルから探す.....33
登録地点から探す.....34
住所から探す.....34
履歴から探す.....35
履歴を削除する.....35
電話番号・郵便番号・マップコードで探す.....36
まっがるコードで探す.....36
NaviCon で探す.....37
NaviCon を使って目的地を設定する.....37
NaviCon からナビの地図表示を操作する.....37
ルートの探索と案内.....38
ルートの探索と案内を開始する.....38
目的地に設定してルートを探る.....38
ルートの探索条件を選択して案内を開始する.....38

提携駐車場を行き先に設定する.....40
複数の到着地点情報があったとき.....40
ルート案内画面について.....41
一般道路でのルート案内.....41
高速道路でのルート案内.....42
音声案内について.....43
案内ポイントでの割り込み表示.....44
交差点案内図の表示.....44
高速道分岐イラストの表示.....44
ETC レーン表示.....45
ルートを再探索する.....45
ルートを編集する.....46
経由地を追加する.....46
目的地・経由地の順番を入れ替える.....46
目的地・経由地を削除する.....47
利用するインターチェンジを変更する.....48
変更したインターチェンジを元に戻す.....49
走行中のルートを表示する.....49
ルート全体を表示する.....49
目的地を表示する.....50
ルート案内を終了する.....50
ルートから外れたときは.....50
地点を登録する.....51
地点を登録する.....51
登録した地点をリストで見る.....51
登録地点を編集する.....52
グループを編集する.....53
登録地点を削除する.....53
文字入力のみ.....54
文字の種類を切り替える.....54
文字を入力する.....54

オーディオ・ビジュアル

AV の基本操作.....55
ソースを切り替える.....55
AV 画面を表示する.....55
画質を調整する.....56
映像の画面表示サイズを変更する.....56
ラジオを聴く.....58
画面の見かたと操作.....58
プリセットモードを切り替える.....58
エリアモードの放送局をリストから選局する.....59
放送局を登録 (プリセット) する.....59
交通情報を受信する.....59
地デジを視聴する.....60
miniB-CAS カードをセットする.....60
画面の見かたと操作.....62
放送局を登録 (プリセット) する.....63
番組表を見る.....64
番組表の見かたと操作.....64
緊急放送を表示する.....65
中継局 / 系列局をサーチする.....65
地デジの設定をする.....65
CD・オーディオファイルディスクを再生する.....66
ディスクを入れる / 出す.....66
ディスクを取り出す.....66
ディスクを取り出せないときは.....66
画面の見かたと操作.....67
DVD を再生する.....68
画面の見かたと操作 (DVD ビデオ / DVD-VR).....68
DVD ディスクメニューを操作する.....69
カーソルで操作する.....69
ディスクメニューを直接操作する.....69
DVD の設定をする.....70

リアビューカメラを使う	124
リアビューカメラを設定する	124
接続するカメラを設定する	124
CMOS-320 のカメラ設定をする	124
リアビューカメラの映像を表示する	125
リアビューカメラ操作ボタンを使う	125
リアビューカメラのガイド線を調整する	126
CMOS-320 を接続している場合	126
CMOS-220 または市販品を接続している場合	126

ステアリングリモコンを使う	127
ステアリングリモコンについて	127
ステアリングリモコンの設定をする	127
車両を選んで設定する	127
独自に機能を割り当てる	128
ステアリングリモコンキーの割り当てを変更 / 初期化する	129

付録

自転車位置の測位精度について	130
地図記号の凡例	132
地図データベースについて	133
ソフトウェア使用許諾契約書	136
VICS について	138
地上デジタルテレビ放送について	140
メディアおよびファイルについて	142
iPod について	146
Bluetooth について	147
故障かなと思ったら	148
主な仕様	156
保証とアフターサービス	158

Bluetooth

Bluetooth 機器の登録と設定	107
Bluetooth 機器を登録する	107
オートペアリング機能で登録する	109
Bluetooth の設定をする	110
登録した機器を接続 / 解除する	110
Bluetooth 機器を接続する	110
Bluetooth 機器の接続を解除する	111
登録した機器を削除する	111
PIN コードを変更する	112
本機のデバイス名を変更する	112

ハンズフリーを使う	113
電話画面を表示する	113
画面の見かたと操作	113
ハンズフリーで電話を受ける / 切る	114
プリセットダイヤルを使う	114
プリセットダイヤルから電話をかける	114
プリセットダイヤルに電話番号を登録する	115
プリセットダイヤルの登録を削除する	115
履歴から電話をかける	116
電話帳から電話をかける	116
電話帳を登録する	117
電話帳を削除する	117
ダイヤルして電話をかける	118
地点情報画面から電話をかける	118
音声認識機能を使って電話をかける	119

Bluetooth オーディオ機器を再生する	120
画面の見かたと操作	120

オプション

ETC 車載器を使う	122
ETC 情報について	122
ETC の音声出力を設定する	122
料金表示を設定する	123
ETC 履歴 / 車載器情報を見る	123

ECO 情報を確認する	88
ECO 情報を見る	88
詳細情報を見る	88
ECO レシオについて	89
ナビゲーションの設定をする	90
地図表示を設定する	92
自転車の現在位置を修正する	92
走行軌跡の表示を設定する	93
走行軌跡を消去する	93
地図に表示するランドマークを設定する	93

サウンドの設定をする	94
スピーカー構成を設定する	96
スピーカーを個別に設定する	96
リスニングポジションを設定する	97
DTA を微調整する	97
プリセットイコライザーを設定する	98
ユーザーイコライザーを設定する	98
調整したイコライザーカーブを保存する	99
ソースの音量レベルを設定する	99

システムの設定をする	100
システムを初期化する	102
設定を SD カードに保存する	102
設定データを本機に読み込む	102

暗証番号を設定する	103
暗証番号を変更する	103
暗証番号を解除する	103

接続状態を確認する	104
-----------	-----

バージョンを確認する	105
------------	-----

地図更新について	106
開通した道路情報の更新	106
KENWOOD MapFan Club を利用して地図を更新する	106
KENWOOD MapFan Club のサービスとは	106
QR コードを使って KENWOOD MapFan Club に登録する	106

USB 機器 / SD カードのファイルを再生する	71
USB 機器を接続する	71
USB 機器を取り外す	71
SD カードを入れる / 出す	71
SD カードを取り出す	71
画面の見かたと操作	72
iPod を再生する	74
iPod を接続する	74
USB で接続する	74
Bluetooth で接続する	74
画面の見かたと操作	75
曲を再生する	75
リストから曲またはビデオを選択する	77
SD カードに録音する	78
録音について	78
録音音質を設定する	78
録音する	79
録音データのタイトルを編集する	80
タイトルを消去する	80
録音データを削除する	81



情報・設定

情報・設定画面について	82
VICS 情報を見る	83
VICS 情報とは	83
VICS 情報の内容と種類	83
VICS 情報の提供方法	83
VICS 情報利用上のご注意	83
地図に表示される VICS 情報	83
地図表示型 (レベル 3) 情報の表示	83
緊急情報の割り込み表示	84
地図上の VICS 情報を見る	84
VICS 図形 / 文字情報を見る	85
FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示	85
VICS 局の選局方法を切り替える	86
自動選局に設定する	86
手動で選局する	86
VICS 情報の表示設定をする	87




安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告



本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC24V 車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしていない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。



作業前に必ずバッテリーの ⊖ 端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意



自動車のコンソールに取り付ける

本機の使用または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。



直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るの絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.148)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を軽くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール (ANT CONT) 端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。(→ P.17)

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因となります。
- 画面部に保護フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいたることがありますが、故障ではありません。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
 - 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
 - 細街路を走行中の現在地図画面
 - 市街地図を表示しているとき
 - マップマッチングしていないとき
 - 駐停車中
- *: 細街路とは、道幅 5.5m 未満の道路のことをいいます。

使用方法について

警告



機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談してください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

フロントパネルの安全装置について

フロントパネルを閉じるときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。

▲ (オープンキー) を押すとフロントパネルが閉じます。

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、▲ (オープンキー) でフロントパネル操作メニューを表示して再度操作してください。

フロントパネルオープン時動作について

ソースが TUNER のときにフロントパネルを開くと TUNER ソースの音声は消音されます。パネルを閉じると消音は自動で解除され音声は聴こえるようになります。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報 (例: 登録地点や検索履歴等) を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

個人情報の消去は、システムを初期化する (→ P.102) / 暗証番号を解除する (→ P.103) / 録音データを削除する (→ P.81) で行うことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター (裏表紙) までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています (受けた部品を使用しています)。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は 10m です。

□ □ □ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。


- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。


本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

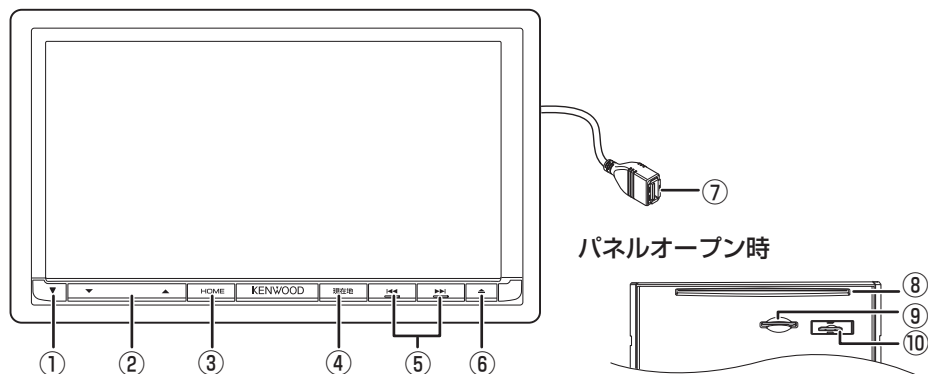
はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(→ P.6)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法を説明しています。(→ P.13)
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション（以降、「ナビ」）の操作方法について説明しています。(→ P.21)
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル（以降、「AV」）および音楽の操作方法について説明しています。(→ P.55)
情報・設定	VICS 情報、ECO 情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。(→ P.82)
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作について説明しています。(→ P.107)
オプション	ETC 車載器やリアビューカメラなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。(→ P.122)
付録	関連する資料や、トラブルシューティングなどを掲載しています。(→ P.130)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- ボタンの表記について
【 】は画面に表示される操作ボタンを表します。
例：【情報・設定】は  を表します。

【 】は本機のフロントパネルのキーを表します。
例：【HOME】は  キーを表します。

各部の名称とはたらき

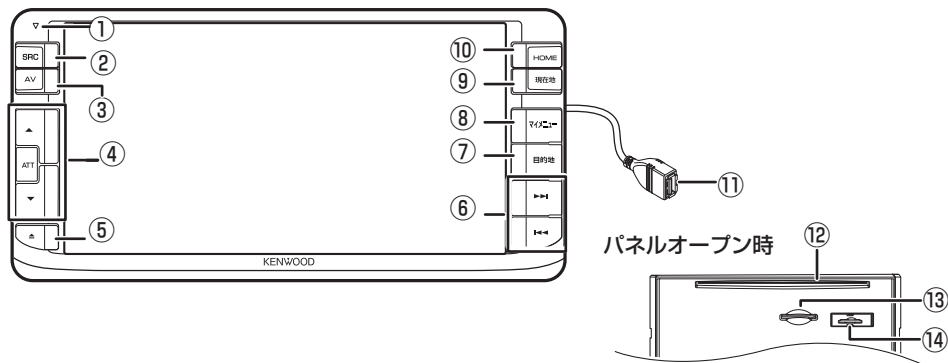
MDV-D502BT



- ① **セキュリティンジケーター**
セキュリティンジケーターを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。(→ P.101)
- ② **音量キー**
AV、ハンズフリー通話の音量を調整 (0 ~ 40) します。
.....
• 【▲】を押し続けると、連続して音量値が 25 まで上がります。
• 案内音量は画面コントロールメニューで調整します。(→ P.18)
.....
- ③ **【HOME】**
• HOME (ホーム) 画面を表示します。(→ P.19)
• 押し続けると、画面コントロールメニューを表示します。(→ P.17)
- ④ **【現在地】**
• 現在地図画面を表示します。(→ P.21)
• 押し続けると、画面の表示をオフにします。
- ⑤ **スキップ / サーチキー**
• ラジオ、地デジ：
放送局を切り替えます。
押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
• 音楽 / ビデオ再生：
前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
押し続けると、早送り / 早戻しします。
- ⑥ **【▲】 (オープンキー)**
フロントパネルの角度調整やディスク、SDカードの出し入れを行うためのメニューを表示します。
- ⑦ **USB 端子**
USB 機器または iPod/iPhone (→ P.74) を接続します。
- ⑧ **ディスク挿入口**
ディスクを挿入する場所です。挿入方法については 66 ページをご覧ください。
- ⑨ **SD カード挿入口**
SD カードを挿入する場所です。また、地図更新データ用 SD カードを挿入します。挿入方法については 71 ページをご覧ください。
- ⑩ **miniB-CAS カード挿入口**
miniB-CAS カードを挿入する場所です。
.....
• miniB-CAS カード挿入口 (⑩) は miniB-CAS カードカバーを外した状態のイラストです。カバーの外しかたについては 60 ページをご覧ください。
• miniB-CAS カードを差し込むときに IC (集積回路) 接触端子に触れないようにしてください。汚れなどでカードが機能しないことがあります。
.....

基本操作

MDV-D502BTW



- ① **セキュリティインジケータ**
セキュリティインジケータを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。(→ P.101)
- ② **[SRC]**
ソース切替画面を表示します。(→ P.55)
- ③ **[AV]**
選択しているソースの AV 画面を表示します。
- ④ **[▲/▼]**
AV またはハンズフリー通話の音量を調整 (0 ~ 40) します。
 - [▲] を押し続けると、連続して音量値が 25 まで上がります。
 - 案内音量は画面コントロールメニューで調整します。(→ P.18)
- [ATT]**
AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
- ⑤ **[▲] (オープンキー)**
フロントパネルの角度調整やディスクの出し入れを行うためのメニューを表示します。
- ⑥ **スキップ / サーチキー**
 - ラジオ、地デジ：
放送局を切り替えます。
押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
 - 音楽 / ビデオ再生：
前 / 次の曲、ビデオ、またはファイルを再生します。
押し続けると、早送り / 早戻しします。
- ⑦ **【目的地】**
目的地検索画面を表示します。(→ P.29)
- ⑧ **【マイメニュー】**
マイメニュー画面を表示します。(→ P.20)
- ⑨ **【現在地】**
 - 現在地図画面を表示します。(→ P.21)
 - 押し続けると、画面の表示をオフにします。
- ⑩ **【HOME】**
 - HOME (ホーム) 画面を表示します。(→ P.14)
 - 押し続けると、画面コントロールメニューを表示します。(→ P.48)
- ⑪ **USB 端子**
USB 機器または iPod/iPhone (→ P.58) を接続します。
- ⑫ **ディスク挿入口**
ディスクを挿入する場所です。挿入方法については 66 ページをご覧ください。
- ⑬ **SD カード挿入口**
SD カードを挿入する場所です。また、地図更新データ用 SD カードを挿入します。挿入方法については 71 ページをご覧ください。
- ⑭ **miniB-CAS カード挿入口**
miniB-CAS カードを挿入する場所です。
 - miniB-CAS カード挿入口 (⑭) は miniB-CAS カードカバーを外した状態のイラストです。カバーの外しかたについては 60 ページをご覧ください。
 - miniB-CAS カードを差し込むときに IC (集積回路) 接触端子に触れないようにしてください。汚れなどでカードが機能しないことがあります。

電源を入れる / 切る

電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



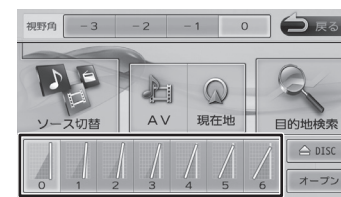
- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の実取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- SD カードへの録音中は電源をオフしないでください。録音を停止してから電源をオフしてください。

フロントパネルの角度を調整する

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドラッグポジションから見やすいようにフロントパネルの角度と画面の明るさを調整できます。角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。

1 [▲] (オープンキー) を押す

2 角度 ([0] ~ [6]) にタッチする



- フロントパネルの角度が「0」以外に設定されていても、電源オフ時には「0」の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

視野角を調整する

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角 ([-3] ~ [0]) にタッチして調整します。マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。



オートアンテナを伸ばす / しまう

オートアンテナの設定を「あり」にしている場合 (→ P.101)、オートアンテナを伸ばしたりしまったりできます。

1 【HOME】 を押し続ける

画面コントロールメニューが表示されます。

2 【アンテナを伸ばす】 または 【アンテナをしまう】 にタッチする



【アンテナを伸ばす】 :
アンテナが伸長します。

【アンテナをしまう】 :
アンテナが収納されます。



- この機能は、オートアンテナ車で本機のオートアンテナコントロールに接続しているときにはたまたまきます。
- アンテナをしまうと FM VICS の受信状態が悪くなる場合があります。

画面表示のオン / オフ

本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。

画面表示をオフにする

1 【現在地】 を押し続ける

画面表示が消えます。

画面表示をオンにする

1 画面表示のオフ中に画面にタッチする

画面表示をオフにする前の画面に戻ります。



- 画面表示のオフは、画面コントロールメニュー (【HOME】 を押し続けて表示) の「画面オフ」からもできます。
- 画面表示のオフ中に本機の電源をオフにすると、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- リアビューカメラが接続されている場合は、画面表示のオフ中にシフトレバーを「R」に入れると、リアビューカメラの画面が表示されます。

関連キーワード

● 画面の時計表示

画面オフのときに時計を表示しないようにすることもできます。(→ P.101)

画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

【戻る】 にタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。



■ リストの操作

リストは上下にスクロールして見たい項目を表示させます。

リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

- スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする。

ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。

フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。



- リストをページ送りする。

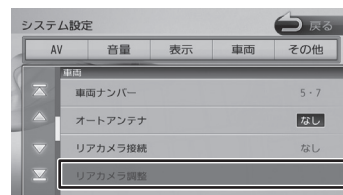


送りたい方向の [▲] [▼] にタッチします。

[▲] [▼] にタッチするとリストの最初 / 最後を表示します。

■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。



■ 設定画面の操作

設定画面は、設定項目の種類ごとにまとめてリストで表示されます。

リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目にタッチして決定します。

②にタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。

① 設定項目の種類



本書では、リストをスクロールして設定の種類を探し、項目をタッチする操作を以下のように記載しています。

例：リストをスクロールして「表示」を探し、【映像画面 / 消灯画面の時計表示】をタッチする場合

“【表示】の【映像画面 / 消灯画面の時計表示】にタッチする”

■ シークバー

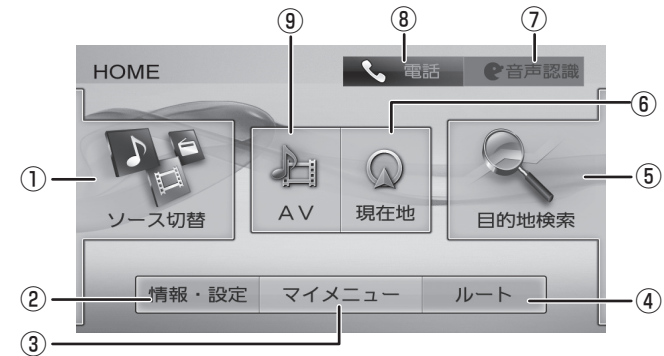


シークバー

AV 画面でシークバーが表示されているときは、タッチすると再生位置を移動することができます。

HOME（ホーム）画面の構成

HOME(ホーム)画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。HOME画面はフロントパネルの【HOME】を押すと、いつでも表示できます。



- ① **ソース切替**
ソース切替画面が表示されます。
(→ P.55)
ソース（音源）の切り替えができます。
ソース切替画面は HOME 画面を、右にフリックしても表示できます。
- ② **情報・設定**
情報・設定画面が表示されます。(→ P.82)
VICS 情報、接続情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。
- ③ **マイメニュー**
マイメニュー画面が表示されます。
(→ P.20)
よく使う設定やメニューを登録して呼び出すことができます。
- ④ **ルート**
ルート画面が表示されます。(→ P.46)
探索したルートを再探索したり、経由地を変更するなど、ルートの編集ができます。
- ⑤ **目的地検索**
目的地検索画面が表示されます。(→ P.29)
行き先や立ち寄る場所など、目的地をいろいろな方法で検索できます。
目的地検索画面は HOME 画面を、左にフリックしても表示できます。
- ⑥ **現在地**
現在地図画面が表示されます。(→ P.21)
- ⑦ **音声認識**
スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。(→ P.119)
- ⑧ **電話**
電話画面を表示します。(→ P.113)
- ⑨ **AV**
選択しているソースの AV 画面が表示されます。

画面の明るさを調整する

本機の画面の明るさ (-5 ~ +5) を調整します。

1 【HOME】 を押し続ける

画面コントロールメニューが表示されます。

2 [明るさ] の **-** または **+** にタッチする



- 画面の明るさは、システム設定から調整することもできます。
(→ P.101)

案内音量を調整する

ルート案内などの案内音量 (1 ~ 20) を調整します。

1 【HOME】 を押し続ける

画面コントロールメニューが表示されます。

2 [案内音量] の **speaker icon** または **speaker icon** にタッチする



- 案内音量は、ナビ設定から調整することもできます。(→ P.91)

マイメニューを使う

よく使う機能やメニューを登録して呼び出すことができます。また、特別メモリ地点として登録した地点を呼び出します。

1 [HOME] を押す

HOME 画面が表示されます。

2 [マイメニュー] にタッチする



マイメニュー画面が表示されます。

3 呼び出したいショートカットボタンまたは特別メモリ地点にタッチする



ショートカット

登録してある機能を実行します。

特別メモリ地点

グループの「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」に設定した登録地点を呼び出します。
(→ P.51)

編集

ショートカットボタンに登録してある機能の変更や登録していないショートカットボタンへ機能を登録できます。

ショートカットボタンに機能を登録する

本機の機能をショートカットボタンに登録します。

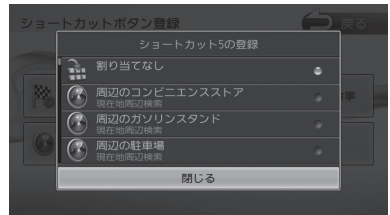
1 [編集] にタッチする



2 登録するショートカットボタンにタッチする



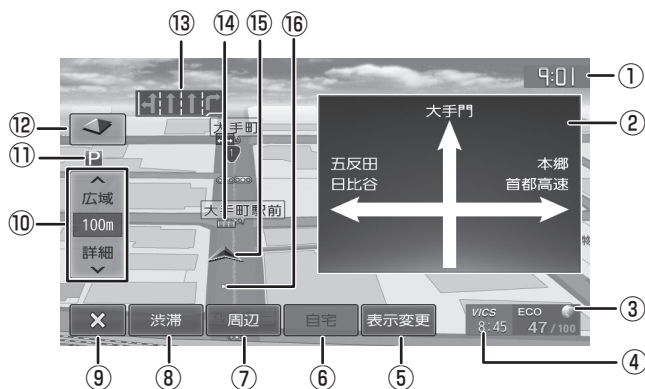
3 登録する機能にタッチする



地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

本機の HOME 画面で [現在地] にタッチする、またはフロントパネルの【現在地】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① 時計

現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

② 方面看板

方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。

③ エコドライブ評価

VICS 情報の提供時刻が表示されます。

④ 【表示変更】：地図の表示方法を設定します。

⑤ 【自宅】：自宅へ帰るルートを探します。

⑥ 【周辺】：周辺の施設を検索します。

⑦ 【渋滞】：VICS 情報画面を表示します。

⑧ 【X】：⑤～⑧を消します。消すと【表示】になります。【表示】にタッチすると⑤～⑧を表示します。

⑩ 【広域】 / 【詳細】

タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。ボタンの間に地図の縮尺が表示されず。

⑪ ランドマーク

目印となる施設がマークで地図上に表示されます。タッチすると施設名、距離、方向が表示されます。ランドマークについては 93 ページをご覧ください。



⑫ (コンパスボタン)

地図の方位が表示されます。(→ P.22) タッチするたびに、地図の向きを切り替えることができます。

⑬ レーン情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑭ 案内地点

：方面看板の案内地点が表示されます。
：レーン情報の案内地点が表示されます。

⑮ 自転車マーク

⑯ 走行軌跡

これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示を消すことや、データを消去することもできます。(→ P.93)



- 現在地図画面で【現在地】を押すと画面上部に地点情報を表示します。

地図を2画面表示する

現在地図画面の上に小画面の地図または AV 簡易画面を表示することができます。

1 [表示変更] にタッチする



2 表示したい方法にタッチする

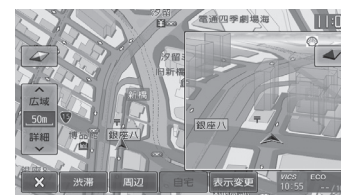


【地図1画面】:

現在地図画面(手順1の画面)を表示します。

【地図2画面】:

現在地図画面の上に小画面の地図を表示します。



【地図 & AV 簡易画面】:

現在地図画面と選択しているソースの AV 簡易画面を表示します。

AV 簡易画面にタッチすると AV 画面を表示します。



[走行軌跡の表示]、[ランドマーク表示]、[VICS 情報表示] はナビ設定 (→ P.90) の各項目のショートカットです。

[ルート表示]、[目的地表示] はルート画面 (→ P.49) の各項目のショートカットです。

[ハイウェイモード] は42ページをご覧ください。



• 地図2画面表示中も、背景の現在地図画面は、地図の向き、縮尺、2D/3D表示の変更やスクロールなどの操作ができません。

• 地図2画面表示中の小画面の地図は、スクロールできません。

地図の向きと2D/3D表示を切り替える

地図の表示方法(向き、2D/3D表示)を切り替えることができます。表示方法は「3Dビュー」、「2D ノースアップ」、「2D ヘディングアップ」の3つがあります。

1 地図画面のコンパスボタンにタッチする

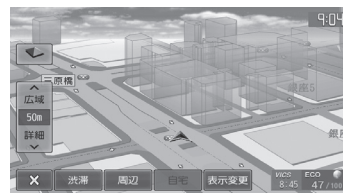
タッチすることにより地図の表示方法が切り替わります。



◀ (3Dビュー)

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。

市街地図では、スケールを50m以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル3Dマップが表示されます。



↑ (2D ノースアップ)

地図の北が画面の上方向のように表示されます。

▶ (2D ヘディングアップ)

進行方向が画面の上方向のように表示されます。



• 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。(→ P.90)

• 地域によっては、バーチャル3Dマップを表示できない場所があります。

地図の縮尺を変える

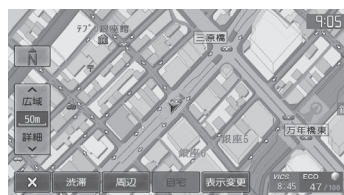
1 [広域] または [詳細] にタッチする



それぞれのボタンにタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

市街地図について

市街地図は、50m以下で表示されます。「100m縮尺での市街地図表示」を「ON」にすると、100m以下で表示できます。設定については90ページをご覧ください。



- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自転車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されません。このため、スクロール地図画面 (→ P.24) で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

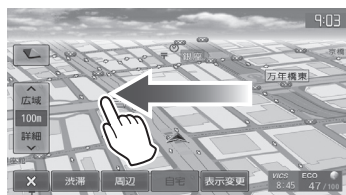
■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。



■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。



■ ポイントスクロール

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。

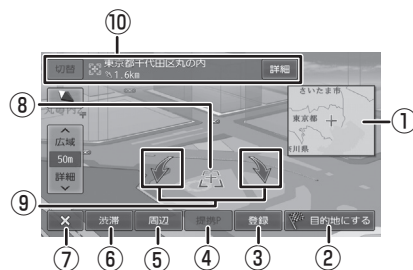


スクロールした後に【現在地】を押すと、現在地図画面に戻ります。



- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。
- 地図の向きが3Dビューのときにポイントスクロールをすると、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

スクロール地図画面の見かた



① フライビューマップ

スクロールした地点を広域地図で表示します。

② 【目的地にする】: この地点を目的地に設定します。

③ 【登録】: この地点を登録します。

④ 【提携P】:

カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

⑤ 【周辺】: 周辺の施設を検索します。

⑥ 【渋滞】: VICS 情報画面を表示します。

(→ P.85)

⑦ 【X】: ②～⑥を消します。消すと【表示】になります。【表示】にタッチすると②～⑥を表示します。

⑧ [+] (カーソル)

地図画面の中心点に表示されます。

⑨ 地図回転ボタン

3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

⑩ 地点情報

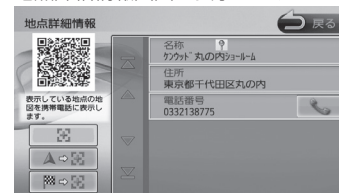
カーソルの位置の地点情報(住所や名称など)と現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。

【切替】:

同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

【詳細】:

地点詳細情報画面を表示します。



携帯電話またはスマートフォンでQRコードを読み取ると、MapFanのサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。詳しくは、26ページをご覧ください。



- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合にのみ表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 詳細情報がすべて表示されていないときは画面をスクロールすると表示できます。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

ナビゲーションの流れ

1
行き先を探す

目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(→ P.29)



地図画面から

地図をスクロールして行き先を探して(→ P.24)、[目的地にする]にタッチします。



2
行き先に設定する

【目的地にする】にタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(→ P.38)



● 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。(→ P.46)

3
ルートを設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(→ P.46)



[推奨] / [距離] / [高速] / [一般] / [高速/距離] : 指定した条件でルートを探します。(→ P.38)

[ルート情報] : 選択したルートの情報を確認します。

入/夕/夜 / 出/横浜駅西口 : 利用するインターチェンジを変更します。(→ P.48)
有料道路を使用するときに表示されます。

4
案内を開始する

【案内開始】にタッチする

ルート案内が始まります。



ルート案内を開始した後は

- 経由地の設定・入れ替え
途中で立ち寄りしたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(→ P.46)
- 案内終了
ルート案内を中止します。(→ P.50)

マップクリップを利用する

マップクリップは、QRコード(2次元バーコード)に変換した地点情報を、携帯電話またはスマートフォンで読み取って地図を表示するサービスです。

- ・「マップクリップ」は、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話またはスマートフォンで利用できます。
- ・携帯電話の機種によっては、QRコードの読み取りに対応していないものもあります。また、スマートフォンの場合はQRコードを読み取るアプリケーションが必要です。
- ・携帯電話でのQRコードの読み取り操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ・読み取った地図1画面のみの閲覧は無料です。スマートフォンの場合、1画面の閲覧と地図の縮尺変更まで無料です。(通信用料、パケット料はお客様負担となります。)
- ・ケータイ MapFanまたはプレミアム MapFanの会員の方は、地図の縮尺変更(スマートフォンは可能)や移動など、1画面を超える範囲を見ることができます。
- ・また、表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することもできます。
- ・ケータイ MapFan、プレミアム MapFanについては、http://www.2jvckenwood.com/faq/ce_navi/mapfan/index.htmlをご覧ください。
- ・「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

ここまでの手順 ▶ 地点を検索する

1 地点詳細情報画面(→ P.24)を表示する



2 QRコードを、携帯電話またはスマートフォンで読み取る



☒ (地点地図) :

カーソルのある地点の位置をQRコードで表示します。

▲☒ (地点地図+現在地) :

カーソルのある地点と現在地の位置をQRコードで表示します。

☒☒ (地点地図+目的地) :

カーソルのある地点と目的地の位置をQRコードで表示します。

QRコードを読み取るとMapFanのサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

自宅を登録する / 自宅に帰る

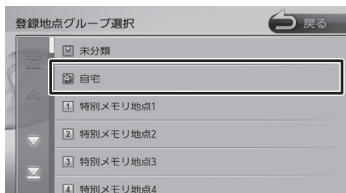
自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

- 1 自宅の場所にカーソルを合わせて、**[登録]** にタッチする



- 2 **[自宅]** にタッチする



- 3 **[決定]** にタッチする



この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は54ページをご覧ください。

- 名称の編集は、後からでも編集することができます。(→ P.52)
- 自宅は名称と電話番号を編集することができます。52ページをご覧ください。

自宅を変更する

すでに自宅が登録されているときに、新しく自宅を登録すると、確認メッセージが表示されます。

[[はい]] にタッチすると自宅が変更されます。先に自宅として登録されていた地点は、[未分類]グループに変更されます。

自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

- 1 現在地図画面で **[自宅]** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

- 2 **[[はい]]** にタッチする

- 3 探索条件にタッチして **[案内開始]** にタッチする



自宅へのルート案内が開始されます。(→ P.38)

- 目的地検索画面の **[自宅]** にタッチして、ルート案内を開始することもできます。(→ P.29)

行き先を探す

目的地検索画面で探す

本機の目的地検索画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先(目的地)や立ち寄りしたい場所(経由地)を探すことができます。

- 1 **[HOME]** を押す

- 2 **[目的地検索]** にタッチする



- 3 目的地を検索する



名称:
施設の名称などで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。(→ P.30)

ジャンル:
食事や買い物など、ジャンルで行き先を探します。(→ P.33)

登録地点:
本機に登録した場所(登録地点)から行き先を探します。(→ P.34)

自宅:
現在地から自宅に帰るルートを探して、ルート案内を開始します。あらかじめ自宅の登録が必要です。(→ P.28)

住所:
住所から目的地を探します。(→ P.34)

履歴:
いままでにルートを探した行き先から探します。(→ P.35)

番号:
電話番号、郵便番号、マップコードを入力して行き先を探します。(→ P.36)

まっがるコード:
まっがるコードで行き先を探します。(→ P.36)



- スマートフォンアプリケーション「NaviCon」を使って目的地や経由地に設定することができます。(→ P.37)

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 [名称] にタッチする



2 施設の名前を入力して、[検索] にタッチする



- 施設名の入力時に、「ん」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が5件以下になると、自動的に手順3の画面が表示されます。

3 行き先にタッチする



[エリア指定]：
さらに指定したエリアで検索します。
(→ P.31)

[ジャンルで絞り込む]：
さらにジャンルで絞り込みます。
(→ P.32)

[名称順]：
検索結果を名称順で表示します。

[距離順]：
検索結果を距離順で表示します。

4 [このピンを選択] にタッチする



[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。

[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

- ピンは手順3で指定した行き先を含めて50件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、[前へ]または[次へ]にタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして [この地点を選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 検索結果画面 (30 ページの手順3) で [エリア指定] にタッチする



2 指定したいエリアにタッチする



[地域を指定]：
住所を入力して検索します。(→ P.34)

[地図から指定]：
地図をスクロールして場所を指定します。

[現在地周辺] / [目的地周辺] / [経由地 (1～4) 周辺]：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

3 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順4に進んでください。



[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。
(→ P.38)

- 地図をスクロールして [この地点を選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 [このピンを選択] にタッチする



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

- 手順2の [目的地周辺] / [経由地 (1～4) 周辺] は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

4 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順5に進んでください。



[リスト]:
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。(→ P.38)

• 地図をスクロールして [この地点を選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 [このピンを選択] にタッチする



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

• 手順3の [ルート周辺] は現在地周辺の半径10km以内でルート前方両側にある施設を検索します。(最大50件)
 • その他は指定した地点を中心とした半径50km以内で検索します。(最大50件)
 • [ルート周辺] 検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
 • 手順3の [目的地周辺] / [ルート周辺] / [経由地(1~4)周辺] は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

ジャンルから探す

食事や買い物など、目的のジャンルから行き先を探します。

1 [ジャンル] にタッチする



2 ジャンルにタッチする



さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

[全て検索]:
選択したジャンル全て(下層の分類も含む)で検索します。

3 指定したいエリアにタッチする



[地域を指定]:
住所を入力して検索します。(→ P.34)

[地図から指定]:
地図をスクロールして場所を指定します。

[ルート周辺]:
ルート前方にある施設を表示します。

[現在地周辺] / [目的地周辺] / [経由地(1~4)周辺]:
指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順5に進んでください。



[リスト]:
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。(→ P.38)

• 地図をスクロールして [この地点を選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 [このピンを選択] にタッチする



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル(施設の種類)でさらに絞り込むことができます。

1 検索結果画面(30ページの手順3)で [ジャンルで絞り込む] にタッチする

2 ジャンルにタッチする



さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

[全て検索]:
選択ジャンル全て(下層の分類も含む)で検索します。

3 目的の施設を選ぶ



[エリア指定]:
さらに指定したエリアで検索します。(→ P.31)

[名称順]:
検索結果を名称順で表示します。

[距離順]:
検索結果を距離順で表示します。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。



- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面で [削除] にタッチする

2 削除する履歴地点にタッチする
複数の履歴を選択することもできます。

[全て選択]:
リスト内のすべての地点を選択します。

[全て解除]:
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 [削除] にタッチして、[はい] にタッチする



履歴から探す

いままでにルートを探した行き先から探します。

1 [履歴] にタッチする



2 検索履歴にタッチする



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)



- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は50か所まで保存されます。50か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 [住所] にタッチする



2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ



リストの最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されています。

[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)



- [番地を入力] にタッチすると番地の入力画面が表示され、番地(丁目、番、号など)をテンキーで入力できます。
- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、“-”でつないで一度に入力することができます。
- [あ] ~ [わ] にタッチすると都道府県名、市区町村名、地名を頭出しします。
- [代表地点] にタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

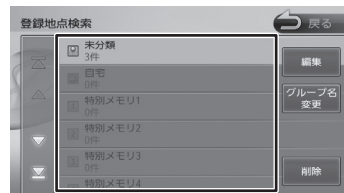


- 事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は51ページをご覧ください。
- 登録地点の編集については、52ページをご覧ください。

1 [登録地点] にタッチする



2 グループにタッチする



3 登録地点にタッチする



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

電話番号・郵便番号・マップコードを探す

電話番号、郵便番号、マップコードの番号から行き先を探します。

1 [番号] にタッチする



2 検索に使用する番号の種類にタッチする



3 番号を入力して、[検索] にタッチする



⏪ :
カーソルの前にある文字を消去します。

[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

- 電話番号と郵便番号のハイフンは入力しません。
- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。[検索] にタッチする必要はありません。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。

- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。付近の地図を表示します。」というメッセージが表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して [検索] にタッチします。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ (<http://www.e-mapcode.com/>) をご覧ください。

まっがるコードで探す

まっがるコードを入力して、観光地などを探します。

1 [まっがるコード] にタッチする



2 まっがるコードを入力して [検索] にタッチする



⏪ :
カーソルの前にある文字を消去します。

[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

- まっがるコードに関する情報は、昭文社のホームページ (<http://www.mapple.co.jp/>) をご覧ください。

NaviCon で探す

「NaviCon」は、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することができます。また、NaviCon には次の機能があります。

- NaviCon は、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon に取り込むことができます。連携できるアプリの種類や詳細については下記の URL をご覧ください。<http://navicon.denso.co.jp/user/support/>
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報を NaviCon で目的地に設定できます。
- 他の NaviCon ユーザーに、地点情報をメールまたは SMS で送信することができます。
- 他の NaviCon ユーザーからの地点情報を受信することができます。

NaviCon を使って目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に転送して、行き先として設定することができます。

1 App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにダウンロードする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。iPod 接続ケーブルについては 146 ページをご覧ください。

iPod touch 5th generation、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4s、iPhone 4 は、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には設定が必要です。74 ページをご覧ください。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。(→ P.107)

3 「NaviCon」を起動する

4 「NaviCon」から本機に地点情報を転送する

転送方法については「NaviCon」の操作方法をご覧ください。

転送された場所が本機に表示されます。



[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。なお、本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

ルートの探索と案内

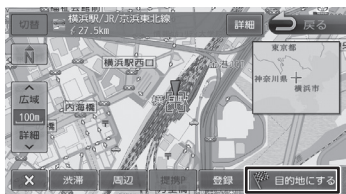
ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルート探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探る

ここまでの手順 ▶ 行き先を検索して、地点情報画面を表示する

1 [目的地にする] にタッチする



表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。



- ルート探索時にスマートICまたはフェリーを利用するように設定することができます（→ P.91）
- [提携P] が表示されたときは40ページをご覧ください。
- 経由地を設定する場合は46ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地（経由地）を設定します。よろしいですか?」と表示されたときは、[はい]：一般道を目的地（経由地）に設定します。
[いいえ]：高速・有料道路を目的地（経由地）に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか?」と表示されたときは、40ページをご覧ください。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 ルートの探索条件にタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後のIC名が表示されます。



【推奨】：
本機が推奨するルートです。

【距離】：
走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

【高速】：
高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

【一般】：
一般道路を優先的に通るルートです。一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路（有料道路）を通るルートになることがあります。

【高速 / 距離】：
高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

【全行程】：
すべての条件でルートを探ります。各条件のルートと比較することができます。



【到着順変更】：
経由地を設定しているときに表示されます。ルートの編集をします。（→ P.46）

【ルート情報】：
選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

入彦原 / 横浜駅西口：
利用するインターチェンジを変更します。（→ P.48）
有料道路を使用するときに表示されます。

2 [案内開始] にタッチする



ルート案内が開始されます。（→ P.41）



- 表示される料金は、ETC割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。
フェリーアイコン：
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「料金」表示には、フェリーの使用料は含まれていません。
- スマートICを利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマートICアイコンが表示されます。
スマートICアイコン：
- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「¥～以上」または「¥…」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、[提携 P]が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 [提携 P] にタッチする



2 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順 3 に進んでください。



[リスト]:

リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。(→ P.38)

3 [このピンを選択] にタッチする

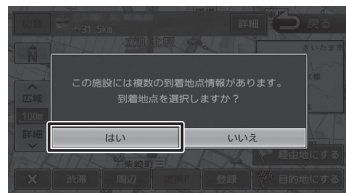


[目的地にする] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

複数の到着地点情報があったとき

目的地または経由地に設定した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 [はい] にタッチする



2 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。



[リスト]:

リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。(→ P.38)

- 地図をスクロールして [この地点を選択] にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 [このピンを選択] にタッチする



選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。(→ P.38)

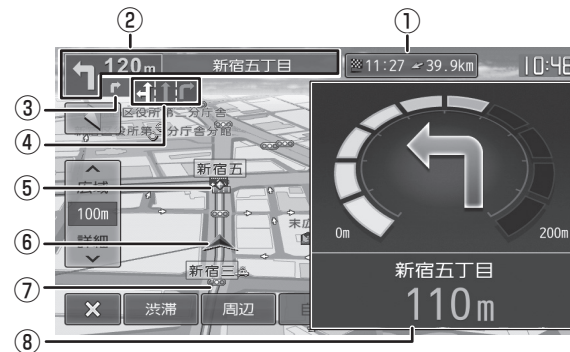
ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① 到着予想時刻と距離

対象の行き先(次の経由地または目的地)への到着予想時刻と距離が表示されます。タッチすると、対象の行き先が切り替わります。

② 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

③ 次々案内ポイント情報

さらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

④ レーン情報表示

白色矢印: 案内レーン
水色矢印: 推奨通過レーン

⑤ 案内ポイント

⑥ 自転車位置マーク

⑦ 案内ルート

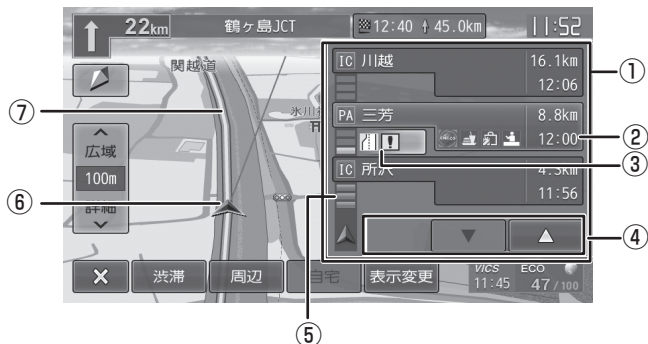
目的地または経由地までのルートです。道路の種類(一般道/高速道路/細街路)によって色分けして表示されます。

⑧ 案内ポイントでの割り込み表示

(→ P.44)

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。案内ポイントに近づくと、ここで案内または高速分岐イラストが表示されます。

② 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ (IC) / ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA) の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大 4 個です。

③ 規制情報表示

車線規制などの情報 (VICS 情報規制表示) が 3 件までマークで表示されます。マークにタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

④ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。スクロールすると [現区間] ボタンが表示されます。[現区間] にタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑤ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。
 橙色：混雑
 赤色：渋滞

⑥ 自車マーク

⑦ 案内ルート



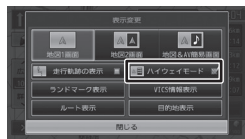
ハイウェイモード画面は、高速道路を走行中に表示されます (ルート案内中以外でも表示されます)。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

■ ハイウェイモード画面を閉じる

[表示変更] にタッチします。



[ハイウェイモード] にタッチしてチェックを外します。



表示させるときは、上の画面を表示して [ハイウェイモード] にタッチしてチェックを付けてください。

音声案内について

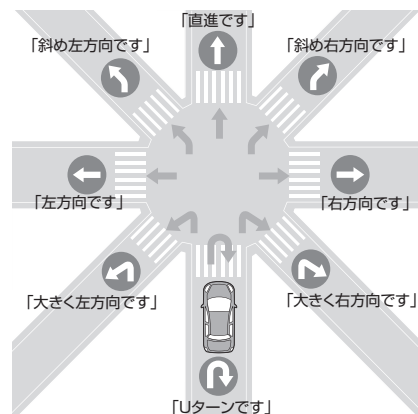
本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。



- 音声案内の前には“ジャン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(→ P.91)
- 音声案内の音量調整は 18 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時の AV 音量を設定することができます。(→ P.100)
- ルート案内ポイントの直前では“ボンボン”と音が鳴ります。

進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。(→ P.91)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行するレーンにご確認ください。
	この先、走行するレーンにご確認ください。左へお寄りください。*
	この先、走行するレーンにご確認ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)



- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なおこないます。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

■ VICS 渋滞 / VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声案内の出力設定はありません。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名)を先頭に、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名)を先頭に、渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、〇〇 km/m 渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ〇〇 km/m 先、渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。
	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。左へお寄りください。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速/距離）を変更して、ルートを再探索します。

1 [HOME] を押す

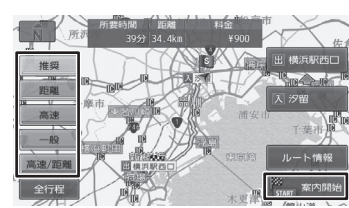
2 [ルート] にタッチする



3 ルート画面の [再探索] にタッチする



4 探索条件を選んで [案内開始] にタッチする



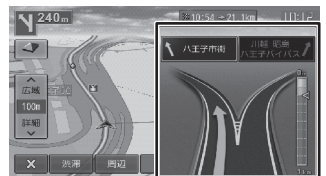
選択したルートでルート案内が開始されます。



乗降ICを指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降ICの指定を解除してください。

■ 出口後分岐

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づくと表示されます。



■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。



ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。



■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。



■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくとここで案内表示、交差点案内図、高速道分岐イラストが割り込み表示されます。

割り込み表示は表示しないように設定することができます。(→ P.91)

割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示にタッチしてください。

消した割り込み表示は、[案内図] にタッチするともう一度表示できます。

ここで案内表示

約 300m (高速道路は約 1.2km) 手前に近づくと表示されます。



交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m (高速道路は約 800m) 手前に近づくと表示されます。



■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は4か所まで追加できます。

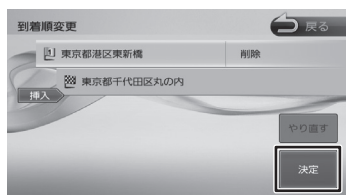
- 目的지가設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまでの手順 ▶ 行き先を検索する

1 [経由地にする] にタッチする



2 経由地の挿入位置を確認し、[決定] にタッチする



[やり直す] :
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

ルートの探索がはじまります。

3 探索条件を選んで [案内開始] にタッチする



[到着順変更] :
到着順を編集することができます。編集操作は下の「目的地・経由地の順番を入れ替える」の手順2からの操作をご覧ください。

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

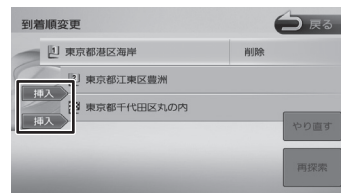
1 ルート画面の [到着順変更] にタッチする



2 順番を変更する行き先にタッチする



3 移動先の [挿入] にタッチする



4 [再探索] にタッチする



[やり直す] :
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

5 探索条件を選んで [案内開始] にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

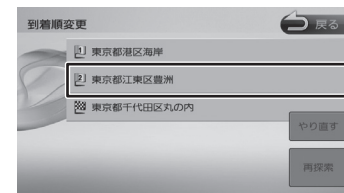
目的地・経由地を削除する

- 削除した地点は元に戻せません。間違えないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

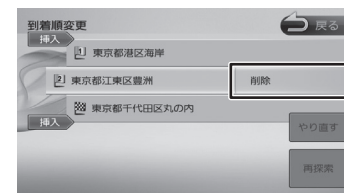
1 ルート画面の [到着順変更] にタッチする



2 削除する行き先にタッチする

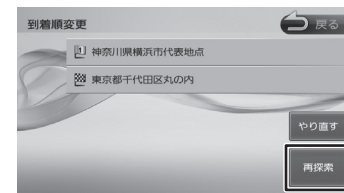


3 [削除] にタッチする



選択した行き先が削除されます。

4 [再探索] にタッチする



[やり直す] :
手順3で削除した地点を再度表示します。

5 探索条件を選んで [案内開始] にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

ルート全体を地図画面で表示します。

1 ルート画面の【ルート表示】にタッチする



【ルート情報】：ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

【デモ走行】：地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。



【×1】 / 【×2】 / 【×3】：
デモ走行の速度を変更できます。
【デモ終了】：デモ走行を終了します。

デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変換することができます。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 ルート画面の【再探索】にタッチする



2 【IC 指定解除】にタッチする



変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

3 【案内開始】にタッチする



4 【このICに変更】にタッチする



指定したICを通過するルートが探索されます。

5 【案内開始】にタッチする



【IC 変更を解除】：
タッチするとIC変更を解除します。

- 手順4で違う路線または進行方向と逆方向のICを選択していると、確認メッセージが表示されます。
- 乗降ICを指定しているときに、経由地を設定しようとすると確認メッセージが表示され、【はい】にタッチすると乗降ICの指定が解除されます。
- 現在地と指定したICの位置によっては、指定したICが入口/出口にならないルートを探る場合があります。
- 指定したIC付近で本機の電源をオフ/オンした場合、ICの指定が解除される場合があります。

利用するインターチェンジを変更する

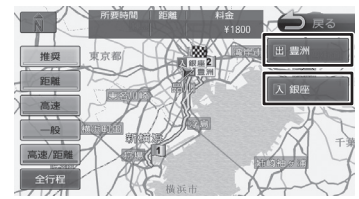
探索された入口または出口IC（インターチェンジ）以外のICを利用するように指定できます。

- 経由地を設定しているときに、乗降ICを指定しようとする、確認メッセージが表示され、【はい】にタッチすると経由地が解除されます。

1 ルート画面の【再探索】にタッチする



2 変更したい入口または出口ICにタッチする



3 入口または出口に指定するIC名を地図に直接タッチして選ぶ



切替：
タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。

- 変更したいICを中心とした半径40km以内にあるIC(最大36件まで)を選ぶことができます。

地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。

本機には 300 件まで地点を登録できます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

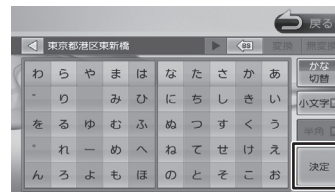
2 [登録] にタッチする



3 登録するグループにタッチする



4 [決定] にタッチする



この画面で登録する地点の名称を編集することができます。文字の入力方法は 54 ページをご覧ください。



- 手順 3 で登録先のグループを選択しなかった場合は、「未分類」グループに登録されます。
- 名称の編集は、後からでも編集することができます。(→ P.52)

関連キーワード

● 登録地点編集

登録した地点の名称、電話番号、グループなどの編集や地点の削除などの編集ができます。(→ P.52)

登録した地点をリストで見える

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 目的地検索画面の [登録地点] にタッチする



2 見たい地点情報のグループにタッチする



登録地点がリストで表示されます。

目的地を表示する

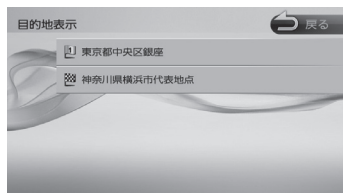
目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

1 ルート画面の [目的地表示] にタッチする



2 表示する目的地または経由地にタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。



ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

1 ルート画面の [案内終了] にタッチし、[はい] にタッチする



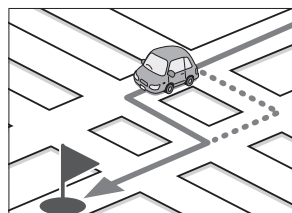
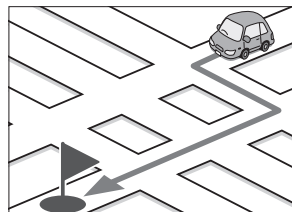
ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。



- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



登録地点を削除する

削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えのないように、慎重に操作してください。

1 登録地点検索画面 (52 ページの手順 2) を表示して [削除] にタッチする



2 削除したい地点のグループにタッチする



3 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。



[全て選択] :
リスト内のすべての地点を選択します。
[全て解除] :
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

グループを編集する

登録した地点のグループ (登録先) のグループ名とグループアイコンを編集できます。

・「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点 1 ~ 5」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。

1 登録地点検索画面 (52 ページの手順 2) を表示する



● グループ名を編集する
[グループ名変更] にタッチして編集したいグループにタッチします。
グループ名を編集して [決定] にタッチします。

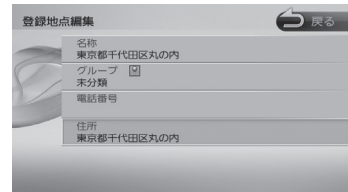


● グループアイコンを編集する
[アイコン変更] にタッチしてアイコンを変更したいグループにタッチします。
変更したいアイコンにタッチします。

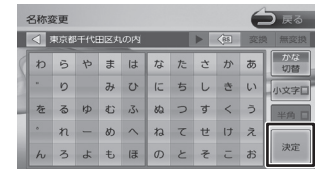


● グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

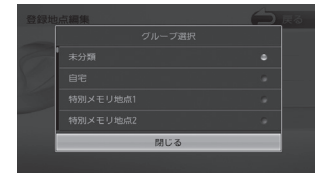
5 編集したい項目にタッチして編集する



● 名称を編集する
名称欄にタッチして名称を入力して [決定] にタッチします。



● グループを変更する
グループ欄にタッチして変更したいグループにタッチします。



● 電話番号を編集する
電話番号欄にタッチして電話番号を入力して [決定] にタッチします。



● 登録地点の住所は編集できません。
● 文字の入力方法については 54 ページをご覧ください
● 電話番号は 15 文字まで入力できます。
● 電話番号のハイフン「-」は省略することもできます。
● 自宅が設定されているときに、別の地点をグループ変更で自宅に設定しようとすると確認メッセージが表示されます。
● 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称、電話番号、グループ (登録先) を編集できます。

1 目的地検索画面の [登録地点] にタッチする



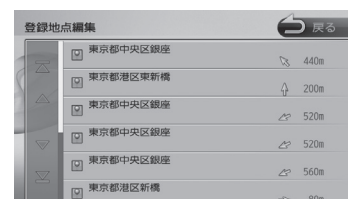
2 [編集] にタッチする



3 編集したい地点のグループにタッチする



4 編集したい地点にタッチする



4 [削除] にタッチする



5 [はい] にタッチする

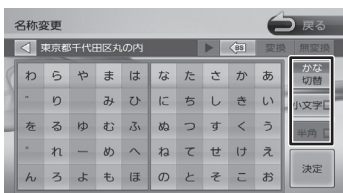
選択した登録地点が削除されます。

文字入力のしかた

文字の種類を切り替える

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

1 切り替える文字の種類にタッチする



[切替] :

タッチするたびにかな(ひらがな) / カナ(カタカナ) / 英数 / 記号に切り替わります。

[小文字] :

小文字に切り替わります。

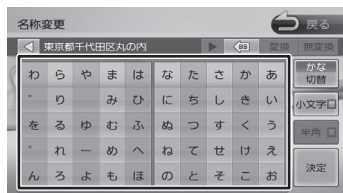
[半角] :

半角英数文字または記号に切り替わります。

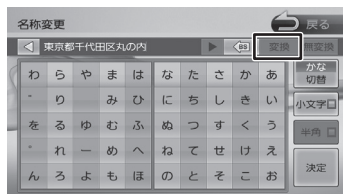
文字を入力する

キーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする



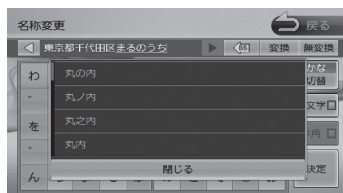
2 変換する場合は、[変換] にタッチする



[無変換] :

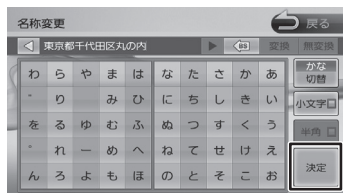
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



文字の変換結果が確定されます。

4 [決定] にタッチする



文字の入力が確定されます。



- ◀ または ▶ にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して [←] にタッチすると文字を消すことができます。
- [←] を押し続けると、入力した文字列が全消去されます。

AV の基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 [HOME] を押す

2 [ソース切替] にタッチする



3 切り替えたいソースにタッチする



iPod :

iPod の曲 / ビデオファイルを再生します。
(→ P.74)

USB :

USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。(→ P.71)

SD :

SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。(→ P.71)

BT AUDIO :

本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。(→ P.120)

地デジ :

地上デジタル TV 放送を受信します。
(→ P.60)

TUNER :

ラジオ放送を受信します。(→ P.58)

DISC :

CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。
(→ P.66、P.68)

STANDBY :

AV 機能をオフにします。

AV 機能をオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。



- DISC ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

AV 画面を表示する

選択しているソースの AV 画面を表示します。

1 [HOME] を押して、[AV] にタッチする



AV 画面が表示されます。

画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

- ・ 地図画面の画質は調整できません。
- ・ SD または USB ソースが一時停止中は調整できません。

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 [HOME] を押し続ける



操作ボタンが表示されます。

3 [◀] / [▶] (-4 ~ 0 ~ +4) にタッチして各項目を調整する



ブライトネス：
明るさを調整します。

コントラスト：
コントラストを調整 (強弱) します。

色の濃さ：
色の濃淡を調整します。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

- ・ リアビューカメラ映像または地デジの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 [HOME] を押し続ける



操作ボタンが表示されます。

3 「アスペクト」の [◀] / [▶]] にタッチして、サイズを調整する



レギュラー：
4:3 の比率で表示します。

フル：
画面いっぱいに表示します。

オリジナル (SD、USB ソースのみ)：
映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

オート (DVD 再生時のみ)：
16:9 の映像はフルで、4:3 の映像はレギュラーで表示します。

■ 映像サイズイメージ

	16:9 画像	4:3 画像	その他	
アスペクト設定				
レギュラー				
フル				
オリジナル (SD、USB ソースのみ)				
オート (DVD 再生時のみ)	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			

ラジオを聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを TUNER に切り替える (→ P.55)



- ① プリセット番号
- ② 受信中の放送局
- ③ プリセットモード
- ④ ステレオ受信表示
- ⑤ 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたつき

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード (エリア/お気に入り 1/ お気に入り 2) が切り替わります。
[FM]/[AM]	受信するバンドを切り替えます。
[交通情報]	交通情報の画面に切り替わり、交通情報を受信します。
[1] ~ [8] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
< / >	放送局を選択します。タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します。(マニュアル選局) タッチし続けるとタッチしている間、周波数が連続して変わります。
[<<] / [>>]	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。(オート選局) もう一度タッチすると、オート選局を中止します。

[リスト] プリセットモードがエリアのときに、プリセットされている放送局をリスト表示します。

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。

エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局 (コミュニティ FM 局を除く) が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。

エリアモードで選択できる放送局は、[リスト] にタッチすると表示できます。(→ P.59)

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。(→ P.59)

1 [プリセット切替] にタッチする



タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 → お気に入り 2 → エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1 [プリセット切替] にタッチして、エリアモードに切り替える



2 [リスト] にタッチする



3 受信する放送局にタッチする



1 ~ 8 : プリセットボタンにプリセットされている放送局

④ : コミュニティ FM 局

・「コミュニティ FM 局」とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録 (プリセット) する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録 (プリセット) します。

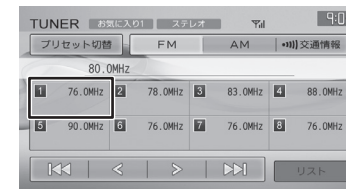
1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。(→ P.58)

2 [プリセット切替] にタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える



3 登録先のプリセットボタンを 2 秒以上タッチし続ける



受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード (1 または 2) で該当するプリセットボタンにタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報 (1620kHz または 1629kHz) を受信します。交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

1 [交通情報] にタッチする

受信状態が良いほうが自動的に受信されます。手動で切り替えるには、[1620kHz] または [1629kHz] にタッチします。

地デジを視聴する

miniB-CAS カードをセットする

地デジを視聴するには、miniB-CAS カードが正しくセットされている必要があります。

- miniB-CAS カード挿入口に miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- miniB-CAS カードを差し込むときに IC (集積回路) 接触端子に触れないようにしてください。汚れなどでカードが機能しないことがあります。触れてしまった場合は、きれいな乾布で拭いてください。

- miniB-CAS カードは、正しい向きで差し込んでください。向きが間違っていると、カードが機能しません。
- フロントパネルを閉じるときにフロントパネルに触れると、安全装置がはたらき、再度フロントパネルが開きます。
- フロントパネルを開いたままで電源をオフ (ACC オフ) にすると、フロントパネルが開いたままの状態です。

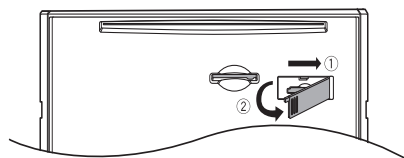
1 フロントパネルの **[▲]** (オープンキー) 押す

2 **[オープン]** にタッチする



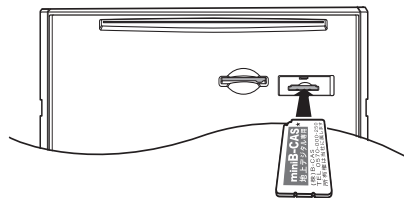
3 カバーを右にスライドして (①)、カバー左端を手前に引いて (②) 取り出す

[▲] (オープンキー) に触れないように注意してください。触れるとフロントパネルが閉じてしまいます。

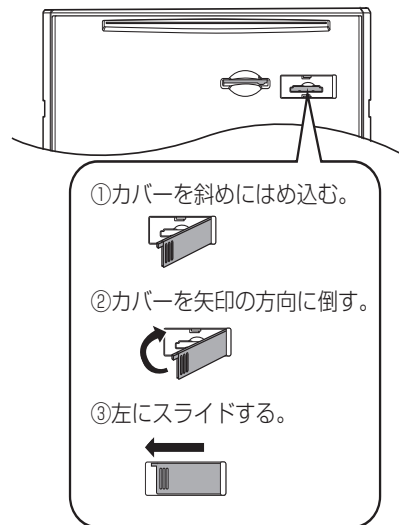


4 IC (集積回路) 接触端子のある面を下にして、miniB-CAS カードを差し込む

miniB-CAS カードは、突き当たるまで、奥までしっかりと差し込んでください。



5 ①から③に従ってカバーを取り付ける



①カバーを斜めにはめ込む。

②カバーを矢印の方向に倒す。

③左にスライドする。

- カバーは必ず左にスライドして閉じてください。左にスライドしないとカバーが外れて本機の内部に入り、故障の原因となります。

6 フロントパネルの **[▲]** (オープンキー) 押す

フロントパネルが閉じます。

■ miniB-CAS カードを取り出す

1 「miniB-CAS カードをセットする」 (→ P.32) の手順 1～3 を行って、フロントパネルを開いてカバーを取り外す

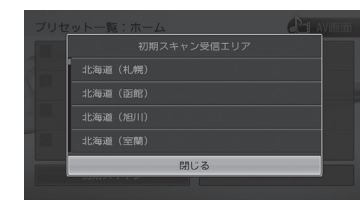
2 miniB-CAS カードをいったん押し込んでから引き抜く

3 「miniB-CAS カードをセットする」 (→ P.60) の手順 5、6 を行って、カバーを取り付けてフロントパネルを閉じる

3 [初期スキャン] にタッチする



現在地の都道府県にタッチして[[はい]]にタッチします。



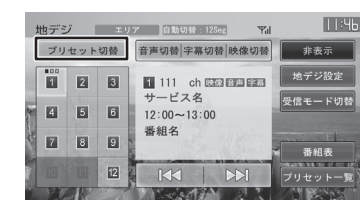
受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。

- [再スキャン] は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンはすでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

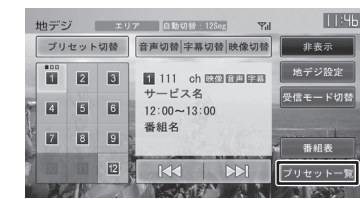
放送局を登録 (プリセット) する

はじめてご使用になる場合は、放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 [プリセット切替] にタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える



2 [プリセット一覧] にタッチする



画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを地デジに切り替える (→ P.55)

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- 1 プリセットモード
- 2 プリセット番号、チャンネル番号
- 3 番組名
- 4 受信している放送局名またはサービス名、放送時間
- 5 音声 / 字幕 / 映像切り替えられるときに表示されます。
- 6 電波の強さ
- 7 受信モード

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード (ホーム / お出かけ / エリア) が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」をはじめてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
[音声切替]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。

[映像切替]	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
[非表示]	操作ボタンが消えます。
[地デジ設定]	地デジの設定画面を表示します。
[受信モード切替]	受信モードを切り替えます。 固定: 1Seg ワンセグ固定モードに切り替えます。 固定: 12Seg 12セグ固定モードに切り替えます。 自動切替: 自動受信モード (1Seg または 12Seg) に切り替えます。
[番組表]	チャンネルの番組リストを表示します。表示されたリストにタッチすると番組の詳細情報が表示されます。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
[<< / >>]	前または次のプリセット局を選局します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。
[1] ~ [12] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。

- プリセットモードがエリアの場合、場所によってはプリセットを選んでも受信できないことがあります。その場合は、プリセットモードをホームまたはお出かけに切り替えて、初期スキャンを行ってください。

地デジの設定をする

1 [地デジ設定] にタッチする
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
1Seg/ 12Seg 自動切替 設定	標準*/ 12Segを 優先 /12Segを 最優先/ 切替頻度低減 を優先/ 切替頻度低減 を最優先	受信モードを [自動切替] に設定している場合に、優先させる内容を設定します。
中継局 / 系列局サーチ	自動切替 (中継局) / 自動切替 (中継局 + 系列局)*/ 切替しない	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	第一言語*/ 第二言語/ 表示しない	表示する文字スーパーを設定します。
お知らせ メッセージ	放送局からのお知らせメッセージ (メール) を表示します。メッセージタイトルにタッチすると、詳細内容を確認できます。	
B-CAS カードID	miniB-CAS カードの情報を表示します。	
B-CAS カードテスト	miniB-CAS カードのテストができます。	

*: お買い上げ時の設定です。

緊急放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。
地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。

[はい]:
緊急警報放送に切り替わります。
緊急警報放送は、AV ソースが地デジのときのみ表示されます。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます (中継局サーチ)。中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「地デジ設定メニュー」の [中継局 / 系列局サーチ] で設定できます。
[中継局 / 系列局サーチ] を「自動切替 (中継局)」に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。

系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

番組表を見る

最大8日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選択することもできます。

1 [番組表] にタッチする
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

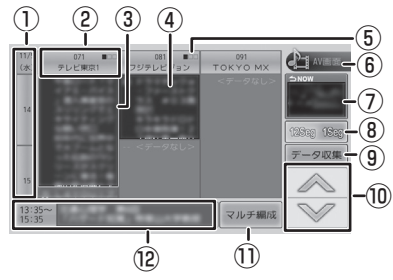
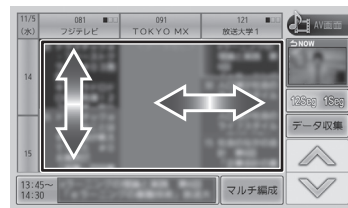


番組表が表示されます。

- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは [データ収集] にタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

番組表の見かたと操作

番組表は番組リスト内をフリックまたはドラッグすると、上下左右にスクロールできます。



- 日時:**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。
- 放送局:**
タッチするとその放送局を受信します。
- フォーカス**
- 現在視聴中の番組**
- マルチ編成表示:**
マルチ編成の時間帯は緑のアミがかかって表示されます。
- [AV 画面]:**
番組表を消して、AV 画面に戻ります。
- 視聴中番組:**
タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。
- [12Seg 1Seg]:**
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。
- [データ収集]:**
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。
- [↑ / ↓]:**
フォーカスを移動します。
- [マルチ編成]:**
フォーカスされている番組がマルチ編成番組 (1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること) の場合に表示されます。タッチすると、番組表内の番組情報を切り替えます。
- 番組詳細:**
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

CD・オーディオファイルディスクを再生する

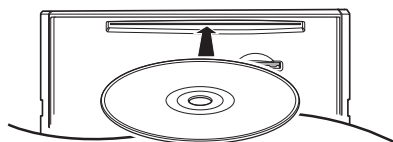
ディスクを入れる / 出す

1 【▲】（オープンキー）を押す

2 [DISC] にタッチする



3 ディスクを挿入口に入れる



フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「DISC」に切り替わります。

- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。

ディスクを取り出す

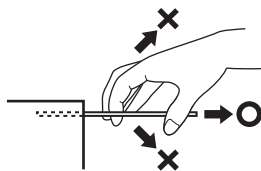
1 【▲】（オープンキー）を押す

2 [DISC] にタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

- ディスクがイジェクトされた後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



ディスクを取り出せないときは

1 メッセージが表示されるまで【▲】（オープンキー）を押し続ける

2 [はい] にタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

関連キーワード

- 録音する
本機では、音楽 CD を再生しながら、SD カードに録音することができます。(→ P.78)

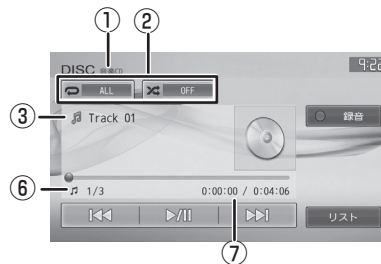
画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

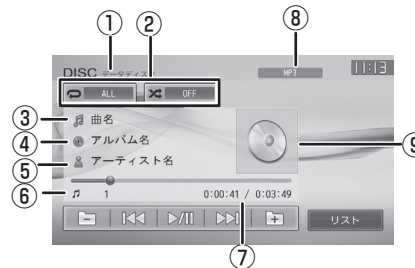
ここまでの手順 ▶

ソースを DISC に切り替える (→ P.55)

音楽 CD



オーディオファイルディスク



- ① ディスクの種類
- ② リピート / ランダム再生モード
- ③ 音楽 CD のとき：トラック番号
オーディオファイルディスクのとき：曲名 (ファイル名)
- ④ アルバム名 (フォルダ名) (オーディオファイルディスクのみ表示)
- ⑤ アーティスト名 (オーディオファイルディスクのみ表示)
- ⑥ 音楽 CD のとき：トラック番号 / 総曲数
オーディオファイルディスクのとき：ファイル番号
- ⑦ 演奏時間 / 総演奏時間
- ⑧ 音声形式 (オーディオファイルディスクのみ表示)
- ⑨ アルバムアート画像 (オーディオファイルディスクのみ表示)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL： すべての曲をくり返し再生します。 1： 再生中の曲をくり返し再生します。 フォルダ (オーディオファイルディスクのみ)： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 OFF： ランダム再生モードを解除します。 ALL (音楽 CD のみ)： アルバム内の曲をランダム再生します。 フォルダ (オーディオファイルディスクのみ)： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
	音楽 CD を SD カードに録音します。
	再生リストを表示します。
	前 / 次のフォルダを選択します。
	前 / 次の曲を選択します。
	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、スクロールはできません。

DVD を再生する

画面の見かたと操作 (DVD ビデオ / DVD-VR)

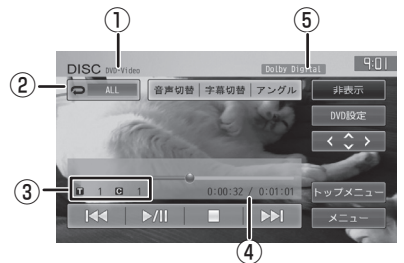
DVD を再生します。
ディスクの出し入れについては、66 ページをご覧ください。

ここまでの手順 ▶

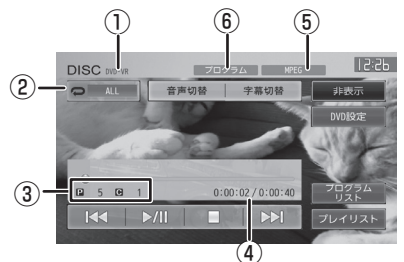
ソースを DISC に切り替える (→ P.55)

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

DVD ビデオ



DVD-VR



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- ① ディスクの種類
- ② リピート再生モード
- ③ DVD ビデオのとき：タイトル番号およびチャプター番号
DVD-VR のとき：プログラム番号およびチャプター番号
- ④ 再生時間 / 総再生時間
- ⑤ 音声形式
- ⑥ プログラムリスト / プレイリスト表示

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 DVD ビデオ ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。 チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。 タイトル : 再生中のタイトルをくり返し再生します。 DVD-VR ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。 チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。 プログラム : 再生中のプログラムをくり返し再生します。 プレイリスト : 再生中のプレイリストをくり返し再生します。
[音声切替] / [字幕切替]	音声 / 字幕の言語が切り替わります。
[アングル] (DVD ビデオのみ表示)	アングルが切り替わります。

[非表示]	操作ボタンを消します。
[DVD 設定]	DVD 設定画面を表示します。
(DVD ビデオのみ表示)	カーソルを表示します。
[トップメニュー] / [メニュー] (DVD ビデオのみ表示)	ディスクのメニュー / トップメニューを表示します。
[プログラムリスト] / [プレイリスト] (DVD-VR のみ表示)	プログラムリスト / プレイリストを表示します。
/	前 / 次のチャプターを選択します。
	再生を停止します。
	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー (ディスクメニュー) を操作します。

カーソルで操作する

1 ディスクメニュー表示中に画面にタッチして [表示] にタッチする

2 にタッチする



3 各ボタンにタッチして操作する



: タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

[リターン] : ディスクメニューの 1 階層上の項目を表示します。

[決定] : 選択中の項目を実行します。

[非表示] : 操作ボタンを消します。

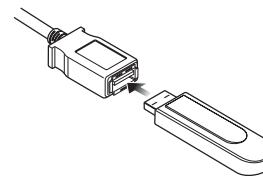
● 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVD によって異なります。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目に直接タッチして操作できます。

USB 機器 /SD カードのファイルを再生する

USB 機器を接続する



- 本機で再生できる USB 機器は 143 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。



- ・ USB ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。
USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す



- ・ フロントパネルを開けた状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- ・ フロントパネルを開けた状態で電源をオフ (ACC オフ) にすると、フロントパネルが開いたままの状態が切れます。

1 ▲ (オープンキー) を押す

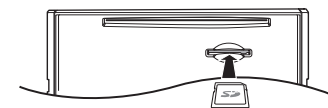
2 [オープン] にタッチする



フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れる

SD カードは、突き当たるまで奥に差し込んでください。



4 ▲ (オープンキー) を押す

フロントパネルが閉じます。

- 本機で再生できる SD カードは 143 ページをご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

SD カードを取り出す

1 SD 以外のソースに切り替えて ▲ (オープンキー) を押す

2 [オープン] にタッチする

3 SD カードを取り出す

SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

4 ▲ (オープンキー) を押す

DVD の設定をする

DVD に関する設定を行います。

1 [DVD 設定] にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVD ビデオのメニュー/トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。 ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。



- ・ 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ・ ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

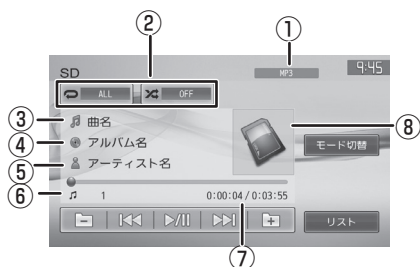
画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイル、本機で SD カードに録音した録音データを再生します。

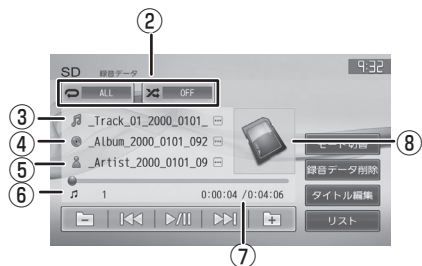
ここまでの手順 ▶

ソースを USB または SD に切り替える (→ P.55)

オーディオファイル



録音データ



- ① ファイル形式
(オーディオファイル再生時のみ表示)
- ② リピート / ランダム再生モード
- ③ 曲名 (ファイル名)
- ④ アルバム名 (フォルダ名)
- ⑤ アーティスト名
- ⑥ ファイル番号
- ⑦ 演奏時間 / 総演奏時間
- ⑧ アルバムアート画像 (オーディオファイル再生時のみ表示)
ジャンルの画像 (録音データ再生時のみ表示)

● 表示されるボタンとはたらき

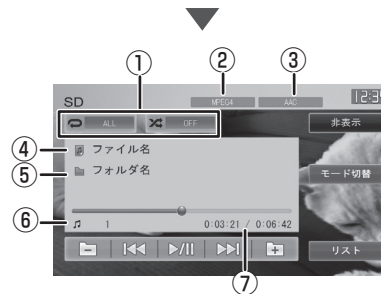
ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 フォルダ: 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 OFF: ランダム再生モードを解除します。 フォルダ: 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。
[モード切替] (SD ソースのみ)	再生モード (パソコンで保存したファイルの再生 / 本機で録音したデータファイルの再生) を切り替えます。切り替えたモードの最初のファイルから再生されます。
[録音データ削除]	本機で SD に録音したデータを削除します。(→ P.81)
[タイトル編集]	本機で SD に録音したデータのタイトルを編集します。(→ P.80)
/	前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次のファイルを選択します。
/	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバムアート画像、ジャンルの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ビデオファイル

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- ① リピート / ランダム再生モード
- ② 映像形式
- ③ 音声形式
- ④ ファイル名
- ⑤ フォルダ名
- ⑥ ファイル番号
- ⑦ 再生時間 / 総再生時間

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 フォルダ: 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 OFF: ランダム再生モードを解除します。 フォルダ: 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。
/	前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次のファイルを選択します。
/	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。
[非表示]	操作ボタンを消します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- 走行中は、ビデオファイルの映像は映りません。

iPod を再生する

iPod を接続する

本機の iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は USB 接続と Bluetooth 接続です。

USB で接続する

iPod の USB 接続には iPod 接続ケーブルが必要です。

■ Dock コネクタ (30 ピン) 搭載モデル

- 音楽を聴く場合：KCA-iP102 (別売品)
- 音楽を聴く / ビデオを見る場合：KCA-iP212 (別売品)

■ Lightning™ コネクタモデル

- Lightning™ コネクタモデル (iPhone5s、iPhone5c、iPhone5、iPod touch 5th generation、iPod nano 7th generation) は、音楽再生のみ対応です。
接続ケーブル：KCA-iP103 (別売品)

- iPod 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

■ iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。
iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

Bluetooth で接続する

Bluetooth で接続する場合は [iPhone との接続方法] を設定してから接続してください。この機能が使用できる iPod/iPhone は iPod touch 5th generation、iPhone5s、iPhone5c、iPhone5、iPhone4s、iPhone4 です。

- この操作を行う前に、本機に USB 接続している機器がある場合は取り外してください。また本機に Bluetooth 接続している機器がある場合も接続を解除してください。

- Bluetooth 接続は音楽再生のみ対応しています。
- iPhone4s、iPhone4 でビデオを見る場合は USB 接続でご使用ください。「iPhone との接続方法」は「USB」に設定してください。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

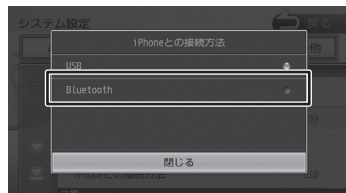
2 [システム] にタッチする



3 [AV] の [iPhone との接続方法] にタッチする



4 [Bluetooth] にタッチする



[USB] :
USB を選択すると USB ケーブルで接続する設定になります。

5 本機に Bluetooth 機器として登録し、接続する (→ P.107)

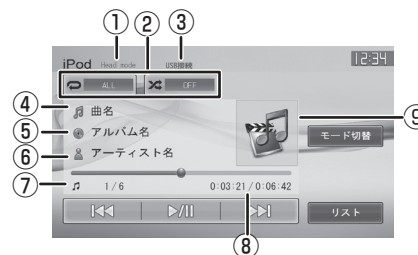
画面の見かたと操作

iPod の曲やビデオを再生します。

- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、スクロールはできません。

曲を再生する

ここまでの手順 ▶
ソースを iPod に切り替える (→ P.55)



- iPod 操作モード
- リピート / シャッフル再生モード
- 接続方法
- 曲名
- アルバム名
- アーティスト名
- 曲番号 / 全曲数
- 再生時間 / 総再生時間
- アルバムアート画像

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。
OFF	シャッフル再生モードが切り替わります。 OFF : シャッフル再生モードを解除します。 曲 : リスト内の曲をシャッフル再生します。 アルバム順 : アルバムをシャッフル再生します。アルバム内の曲は順番どおりに再生します。
[モード切替]	iPod 操作モードが切り替わります。 Head mode : 本機の画面で iPod の操作ができます。 External mode : iOS アプリケーションで音声や映像を再生する場合に使用します。再生操作は iPhone 本体で行います。
[リスト]	再生リストを表示します。(→ P.77)
/	前 / 次の曲を選択します。
	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。

ビデオを再生する

iPod ビデオを再生するときは、リストから選んでください。(→ P.77)

- ビデオの再生中に本機の電源をオフにしてオンにすると、再生していたビデオは再生されません。

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の「非表示」でも消すことができます。

- iPod 操作モード
- リピート/シャッフル再生モード
- 接続方法
- ビデオ名
- アルバム名
- アーティスト名
- ファイル番号 / 全ファイル数
- 再生時間 / 総再生時間

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 ALL : リスト内のすべてのビデオをくり返し再生します。 1 : 再生中のビデオをくり返し再生します。
OFF	シャッフル再生モードが切り替わります。 OFF : シャッフル再生モードを解除します。 曲 : リスト内のビデオをシャッフル再生します。 アルバム順 : アルバムをシャッフル再生します。アルバム内のビデオは順番どおりに再生します。
[モード切替]	iPod 操作モードが切り替わります。 Head mode : 本機の画面で iPod の操作ができます。 External mode : iOS アプリケーションで音声や映像を再生する場合に使用します。再生操作は iPhone 本体で行います。
[リスト]	再生リストを表示します。(→ P.77)
/	前 / 次の曲を選択します。
	再生 / 一時停止 (ポーズ) します。
[非表示]	操作ボタンを消します。

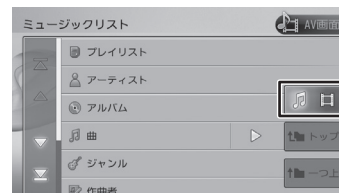
リストから曲またはビデオを選択する

iPod 本体での操作と同様に、再生する曲やビデオを本機から選択できます。

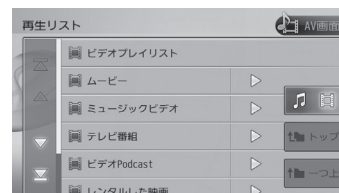
1 [リスト] にタッチする



2 にタッチしてリスト (ビデオまたはミュージック) を選ぶ



3 再生するカテゴリー、曲またはビデオにタッチする



[トップ] :
一番上の層のリストに移動します。

[一つ上] :
一つ上の層のリストに移動します。

:
該当するフォルダまたはリストの先頭のファイルから再生されます。

- 手順 2 以降で表示されるカテゴリーは、ミュージックリストとビデオリストで異なります。

SD カードに録音する

録音について

再生中の音楽 CD を SD カードに録音します。

- 録音中は地デジ、SD ソースは選択できません。
- 録音中にナビの画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、画面に以下のアイコンが表示されません。



- 録音中に電源をオフにしたり、録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されます。
- 本機は SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を SD カードに録音することはできません。
- SD カードがいっぱいで録音できない場合はメッセージが表示されます。不要なデータを削除してから録音してください。(→ P.81)
- 録音データは、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名: "Track" + Track 番号 + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
 - アルバム名: "Album" + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
 - アーティスト名: "Artist" + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
- なお、年、月日、時刻は、その音楽 CD が初めて録音されたときの開始時点のものです。
- 楽曲情報は本機で編集することができます。(→ P.80)
- 録音中は、システム設定の「録音音質」は設定できません。
- 本機で再生できる SD カードについては、143 ページをご覧ください。

録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。

- SD カード (1GB の場合):
 - 標準音質 … 約 250 曲
 - 高音質 … 約 125 曲

録音可能アルバム数について

最大 999 枚録音できます。

録音音質を設定する

音楽 CD から録音するときの録音音質を設定します。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [システム] にタッチする



3 [AV] の [録音音質] にタッチする



【標準 (128kbps)】:
標準の音質で録音します。

【高音質 (256kbps)】:
高音質で録音します。

録音する

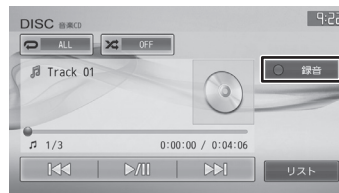
音楽 CD を再生しながら SD カードに (最大約 4 倍速) 録音できます。



- SD カードへの録音中にエンジンを切ったり、スタートしないでください。ファイルが消えてしまったり、SD カードが破損するおそれがあります。エンジンを切ったりスタートさせたいときは、録音を中止してください。

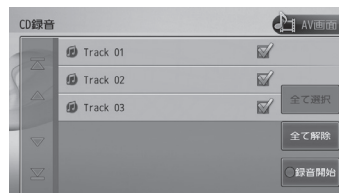
1 ソースを DISC に切り替えて、録音したい音楽 CD を再生する

2 [録音] にタッチする



3 録音する曲を選択する

- : 録音していない曲
- : 録音済みの曲

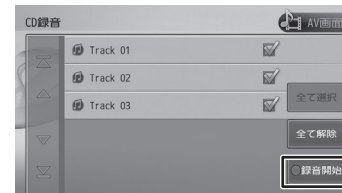


表示されているリストでは、すべての曲が選択されています。録音しない曲にタッチすると、選択が解除されます。

【全て選択】:
すべての曲を選択します。

【全て解除】:
すべての曲の選択を解除します。

4 [録音開始] にタッチする



確認のメッセージが表示されます。

5 [はい] にタッチする



録音が始まります。

録音中の画面では、録音の状況を確認できます。

0/3 : 録音済 / 録音予定の曲数

【録音停止】:

録音を停止して、ディスクの 1 曲目から再生します。

すべての録音が終了すると、[録音モード終了]が表示されます。[録音モード終了]にタッチして [はい] にタッチすると、ディスクの 1 曲目から再生されます。録音データを再生するには、ソースを SD にします。(→ P.55)



- 手順 3 で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが上書きされます。
- 録音中に [リスト] にタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されます。
 - : 録音済みの曲
 - : 録音中の曲 (赤)
 - : 録音予定の曲 (エンジ)
 - : 録音予定がない曲 (グレー)
 - : エラーが発生して録音されなかった曲

3 削除するデータを選んでタッチする

複数のデータを選択することもできます。



[全て選択] :
すべての曲を選択します。

[全て解除] :
すべての曲の選択を解除します。

4 [削除] にタッチして、[はい] にタッチする



3 [タイトル消去] にタッチする



確認メッセージが表示されます。

[はい] :
リストに表示されている全ての曲 (アルバム内全曲) のタイトルを消去します。

[いいえ] :
消去しません。

録音データを削除する

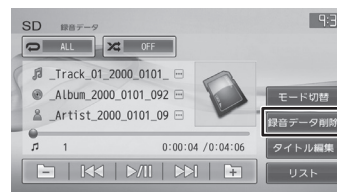
SD カードに録音したデータを削除します。

ここまでの手順 ▶

ソースをSDに切り替える (→ P.55)

SD カードの録音データを削除する場合は、SD カードの再生モードを本機で録音したオーディオファイルの再生に切り替えておいてください。(→ P.72)

1 [録音データ削除] にタッチする



2 削除するデータが入っているアルバムにタッチする



録音データのタイトルを編集する

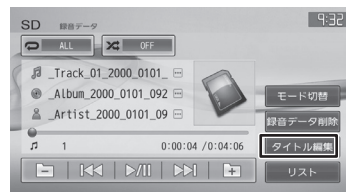
SD カードに録音したデータのタイトル (曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル) を編集することができます。

ここまでの手順 ▶

ソースをSDに切り替える (→ P.55)

SD カードの録音データを編集する場合は、SD カードの再生モードを本機で録音したオーディオファイルの再生に切り替えておいてください。(→ P.72)

1 [タイトル編集] にタッチする



2 編集する曲にタッチする



3 編集したい項目にタッチする



曲名 :
文字入力画面が表示されます。

アルバム名 :
文字入力画面が表示されます。
変更したアルバム名は同一アルバム内の全ての曲に反映されます。

アーティスト名 :
文字入力画面が表示されます。
編集すると確認メッセージが表示されます。

[はい] :
編集したアーティスト名をアルバム内全ての曲に反映します。

[いいえ] :
編集している曲のみに反映されます。

ジャンル :
リストから選択します。
選択すると確認メッセージが表示されます。

[はい] :
選択したジャンルをアルバム内全ての曲に反映します。

[いいえ] :
編集している曲のみに反映されます。



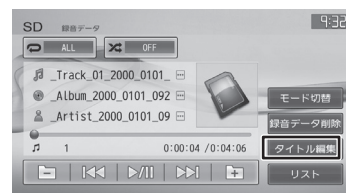
- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム名 / アーティスト名とも 128 文字です。
- 文字入力については 54 ページをご覧ください。

タイトルを消去する

編集したアルバム内全てのタイトル (曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル) を消去することができます。

1 タイトルを消去したい曲を再生する

2 [タイトル編集] にタッチする



情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS 情報、接続情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 【HOME】を押して【情報・設定】にタッチする



情報・設定画面が表示されます。

VICS :

FM VICS 情報を表示します。(→ P.83)

接続 :

本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(→ P.104)

バージョン :

本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(→ P.105)

ETC

本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。(→ P.122)

ECO :

車のエコドライブ情報を表示します。(→ P.88)

ナビ

ナビゲーションに関する設定を行います。(→ P.90)

サウンド

サウンドに関する設定を行います。(→ P.94)

Bluetooth

Bluetooth に関する設定を行います。(→ P.107)

システム

システムに関する設定を行います。(→ P.100)

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS (Vehicle Information and Communication System) は、一般財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル (種類) があります。

- **レベル 1 (文字型情報)**
情報が文字で表示されます。
- **レベル 2 (簡易図形型情報)**
情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3 (地図表示型情報)**
情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送 (NHK-FM) を通じて、VICS の情報を受信することができます。

VICS 情報利用上のご注意

- 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所 (雑音、マルチパスなどによる) では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります (情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります)。
- FM 放送時間外は利用できません。

地図に表示される VICS 情報

地図表示型 (レベル 3) 情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。

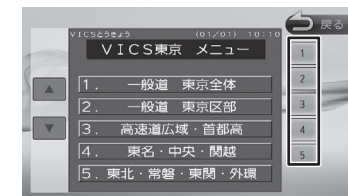


- ① 駐車場情報 ② 渋滞情報
- 赤色：満車 赤色：渋滞
 - 橙色：混雑 橙色：混雑
 - 青色：空車 水色：順調
 - 黒色：不明

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

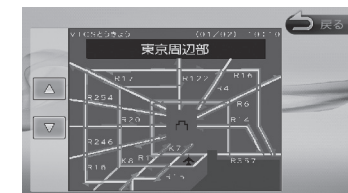
事故	通行止め 閉鎖	大型 通行止め	障害物 路上障害
チェーン規制	故障車	入口閉鎖	入口制限
イベント	出口制限	火災	凍結
車線規制	車線規制：右側	進入禁止	片側交互通行
駐車場閉鎖	駐車場混雑	駐車場空き	駐車場満車
	背景橙色	背景青色	背景赤色

FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示



右側の番号をタッチすると、図形 / 文字情報の詳細情報表示が切り替わります。

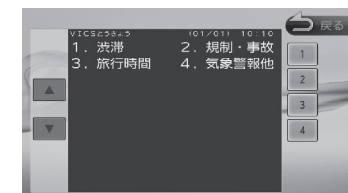
■ 図形情報



▼ / ▲ :

一つ前 / 次の情報に切り替えます。

■ 文字情報



▼ / ▲ :

一つ前 / 次の情報に切り替えます。

VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [VICS] にタッチする



3 [FM 図形情報] または [FM 文字情報] にタッチする



FM-VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

地図上の VICS 情報を見る

地図画面に表示された VICS の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制 / 障害マークにタッチする

地点情報表示に規制情報が表示されます。



2 [詳細] にタッチする



【切替】:

複数の VICS 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。



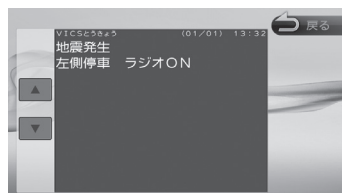
VICS の詳しい情報が表示されます。

駐車場 不明	SA・PA 閉鎖	SA・PA 混雑	SA・PA 空き
背景黒色	背景橙色	背景橙色	背景青色
SA・PA 不満車	SA・PA 不明	その他の規制	工事
背景赤色	背景黒色		
徐行	速度規制	対面通行	作業

- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<http://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図に表示する VICS 情報は設定することができます。(→ P.87)
- 地図表示型 (レベル 3) 情報を表示できる地図の縮尺は 10m ~ 1km です (一般道では 10m ~ 500m です。また、駐車場情報は 10m ~ 200m で表示します)。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICS が受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。

緊急情報の割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。



- 緊急情報表示は [戻る] にタッチするまで表示されます。
- 注意警戒情報表示は、約 15 秒経過すると自動的に消えます。

VICS 情報の表示設定をする

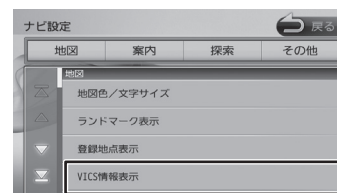
地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする



3 「地図」の [VICS 情報表示] にタッチする



4 表示する項目にタッチする



表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目にタッチすると、選択が解除されます。



・ [表示オフ] にタッチするとすべての VICS 情報が表示されなくなります。

VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局
現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局の方が便利です。
- 手動選局
FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [VICS] にタッチする



3 [VICS FM 選局モード] にタッチする



4 [自動] にタッチする



[自動] にチェックが付いているときは、自動選局が選択されています。

手動で選局する

1 [自動] にタッチしてチェックを外す



2 ◀ または ▶ にタッチして、受信周波数を設定する



受信する周波数が設定されます。

ECO 情報を確認する

ECO 情報を見る

現在地図画面でエコドライブ情報を見ることができます。



ECO ドライブ評点

ECO ドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100点満点で表示されます。eスタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

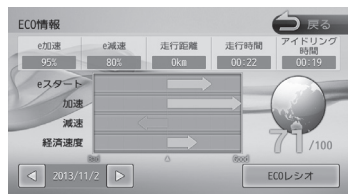
走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [ECO] にタッチする



3



◀ / ▶ :
現在表示されている情報の 1 日前 / 1 日後の情報を表示します。

[ECO レシオ] :
燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- **e スタート :**
停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- **加速 :**
加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- **減速 :**
減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- **経済速度 :**
一定スピード（経済速度）での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

ECO レシオについて


ECO 情報画面で [ECO レシオ] にタッチすると、燃費度合グラフが表示されます。



◀ / ▶ :
グラフ表示を 1 日分スクロールします

[ECO 判定モード] :
ECO 度の判定のモード(ソフト / ノーマル / ハード)を設定します。ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。(お買い上げ時は「ノーマル」に設定されています)

[ECO データ消去] :
過去の ECO データを消去します。確認のメッセージで [はい] にタッチすると、ECO データが削除されます。

.....

 ・ ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする



3 設定する項目にタッチする



- 「ぬけみちの表示」とは、本機のデータベースに収録されている情報からぬけみちを表示する機能です。
- ぬけみちは、300m以下のスケールで紫色で表示されます。市街地図では表示されません。
- 「ETC料金の表示」は、別売の対応 ETC 車載器が接続されている場合に設定できます。

設定できる項目は以下のとおりです。

● 地図

項目	設定	説明
地図色 / 文字サイズ	地図色：1*/2 文字サイズ：小 / 中 / 大* 地図色昼夜切替：昼色に固定 / 夜色に固定 / 自動*	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。 (→ P.92)

項目	設定	説明
ランドマーク表示	—	地図に表示するランドマークを設定します。 (→ P.93)
登録地点表示	—	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリにタッチします。もう一度タッチすると選択を解除します。[表示オフ]にタッチするとすべて表示しません。
VICS 情報表示	—	地図に表示する VICS 情報を設定します。
自車マーク	▲*/■/●	自車マークのデザインを設定します。
ぬけみちの表示	ON*/OFF	ぬけみちを表示するかどうかを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。 (→ P.93)
走行軌跡を消去	—	記憶されている走行軌跡を消去します。 (→ P.93)
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ / 3Dビュー*	地図の向きを設定します。
地図の向き (小画面)	ノースアップ / ヘディングアップ / 3Dビュー*	小画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
100m 縮尺での市街地図表示	ON*/OFF	100m 縮尺で市街地図を表示するかどうかを設定します。OFF にすると 50m 以下で市街地図が表示されます。

● 案内

項目	設定	説明
案内音声の音量	1 ~ 10* ~ 20	案内音声の音量を設定します。
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	案内音量設定と車速に応じて、案内音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内と VICS 情報の案内音声を出力するかどうかを設定します。
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF: 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON: ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON*: 音声を出力します。	
ETC 音声の出力	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 音声を出力するかどうかを設定します。
ETC 料金の表示	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。 (→ P.21)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。 (→ P.21)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。 (→ P.44)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。 (→ P.44)
ここです案内表示	ここです案内の表示 (→ P.44) を設定します。 ON: 表示します。 一般道のみ ON*: 一般道のみ表示します。 OFF: 表示しません。	
ETC レーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときに ETC レーン案内を表示するかどうかを設定します。 (→ P.45)
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。

● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(→ P.38)
道幅の広い道路	優先しない: 道幅を考慮せずルートを探します。 優先する*: 道幅の広い道路を優先して通るルートを探します。 最優先する: 道幅の広い道路を最優先して通るルートを探します。	
スマート IC を利用した探索	ON/OFF*	スマート IC を利用した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。

- スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

● その他

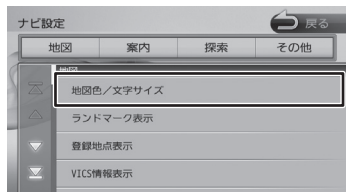
項目	説明
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。(→ P.92)
地図更新プログラム	地図の更新用の SD カードを作成します。(→ P.106)
オービス更新プログラム	オービスの更新用の SD カードを作成します。

*: お買い上げ時の設定です。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 「地図」の[地図色/文字サイズ]にタッチする



2 設定したい項目にタッチする



地図色：

地図の表示色を設定します。

文字サイズ：

小、中、大から文字サイズを設定します。

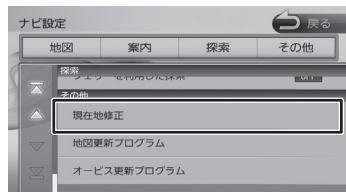
地図色昼夜切替：

- ・ [自動]：
車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)
- ・ [昼色に固定]：
常に昼色の地図を画面に表示します(昼画面)。
- ・ [夜色に固定]：
常に夜色の地図を画面に表示します(夜画面)。

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

1 「その他」の[現在地修正]にタッチする



地図が表示されます。

2 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる(位置を修正)



3 [向きを修正]にタッチする

4 [戻る] または [OK] にタッチして、自車の向きを設定する(向きを修正)



5 [決定]にタッチする

- ・ 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。(→ P.22)
- ・ 手順5で[決定]にタッチする前なら、[位置を修正]または[向きを修正]にタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。
- ・ 手順5で[決定]にタッチする前に[戻る]にタッチすると、修正した自車位置や向きは破棄されて、ナビ設定に戻ります。

走行軌跡の表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 「地図」の[走行軌跡の表示]にタッチする



[ON]：

走行軌跡を表示します。

[OFF]：

走行軌跡を表示しません。

走行軌跡を消去する

1 「地図」の[走行軌跡を消去]にタッチして、[はい]にタッチする

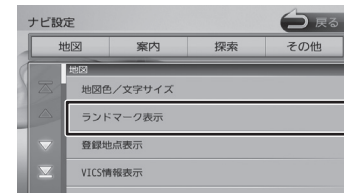


- ・ 走行軌跡は、現在地より過去1000kmの軌跡が保存されています。1000kmを超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- ・ 「走行軌跡の表示」を「OFF」に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド/コンビニ/ファミリーレストラン/ファーストフードについては、500m以下のスケールで表示します。その他のランドマークは200m以下のスケールで表示されます。

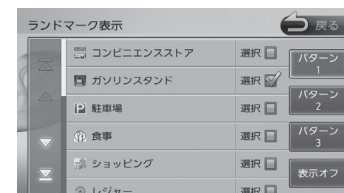
1 「地図」の[ランドマーク表示]にタッチする



2 設定するパターンにタッチする



3 表示するランドマークのジャンルにタッチする



タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名にタッチすると分類が表示されます。設定したい項目にタッチします。

表示させたいパターン(1~3)にタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。



- ・ [表示オフ]にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。

サウンドの設定をする

音響効果や音質、オーディオ効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。



- サウンドの設定はAVソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ（STANDBY）のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリーの発信、着信、通話、音声認識機能使用中はサウンドの設定はできません。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [サウンド] にタッチする



3 設定する項目にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
リスニングポジション	—	リスニングポジションを設定します。 (→ P.97)
イコライザー	—	音質を設定します。 (→ P.98)
バランス / フェーダー	—	◀ または ▶ にタッチして左右のバランスを、▲ または ▼ にタッチして前後のバランスを調整します。 [センターに戻す]: 左右 / 前後ともに中央になります。
Drive Equalizer +	ON*/OFF	車速とAV音量に応じて音質を自動で調整します。
ラウドネス	OFF*/ LOW/ HIGH	小音量時に不足する低音と高音を補います。ここでは、そのレベルを設定します。
バスブースト	OFF/ LEVEL1*/ LEVEL2/ LEVEL3	低音を増強するレベルを設定します。
スペースエンハンサー	OFF*/ SMALL/ MEDIUM/ LARGE	実際の車室よりも広い仮想空間での音響効果を作り出します。ここでは、仮想空間の広さを設定します。 ソースが“TUNER”のときは設定できません。
サウンドライザー	OFF*/ LOW/ MIDDLE/ HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。
リアライザー	OFF/ LEVEL1*/ LEVEL2/ LEVEL3	ぼけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。

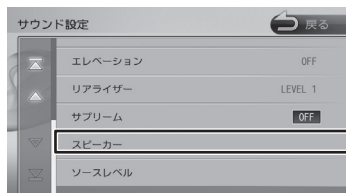
項目	設定	説明
サブプリーム	ON/OFF*	音声を圧縮したことで失われた情報や変化した波形を元に戻すことで、自然な音を再現します。圧縮された音楽に効果的です。
スピーカー	—	スピーカーの構成と車両タイプを設定します。 (→ P.96)
ソースレベル	—	各AVソースの音量を揃えます。(→ P.99)

*: お買い上げ時の設定です。

スピーカー構成を設定する

車両タイプを選んでお車に適したスピーカーを設定します。
スピーカーは個別に設定することもできます。

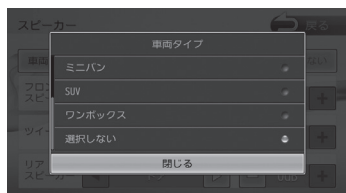
1 [スピーカー] にタッチする



2 [車両タイプ] にタッチする



3 車両のタイプにタッチする



スピーカーを個別に設定する

1 各項目を設定する



フロントスピーカー / リアスピーカー：
取付位置とレベルを設定します。

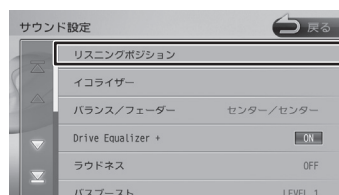
ツイーター：
サイズとレベルを設定します。
(フロントスピーカーのみ)

リスニングポジションを設定する

車に乗っている人にとってより良い音場になるように、リスニングポジションを選択します。リスニングポジションを選択すると、最適な DTA (Digital Time Alignment) が設定されます。DTA の値は微調整することもできます。

- この設定を行う前に、車両タイプを設定してください。(→ P.96)
- DTA とは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。

1 [リスニングポジション] にタッチする



2 設定するリスニングポジションにタッチする

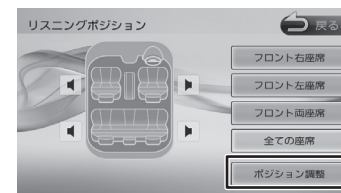


選択したリスニングポジションに合った DTA (Digital Time Alignment) が設定されます。

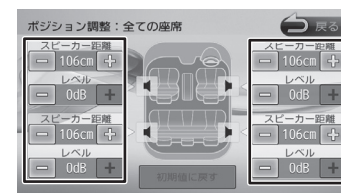
DTA を微調整する

実際のリスニングポジションに合わせて、DTA を微調整します。

1 [ポジション調整] にタッチする



2 各スピーカーの距離とレベルを設定する



[スピーカー距離]：

お使いの車で実際に測った距離を設定します。リスニングポジションを「全ての座席」または「フロント両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

[レベル]：

実際に音を聴きながら調整します。

[初期値に戻す]：

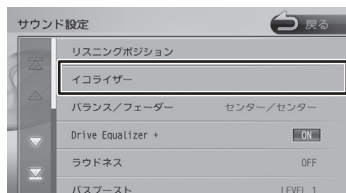
設定した値を初期設定に戻します。

プリセットイコライザーを設定する

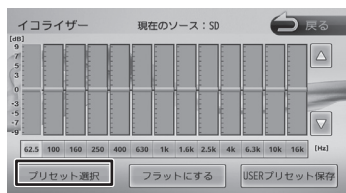
ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーをソースごとに設定します。

1 設定したいソースを選ぶ

2 [イコライザー] にタッチする



3 [プリセット選択] にタッチする



4 設定したいプリセットイコライザー (ジャンル) にタッチする



手順1で選択したソースに設定されます。

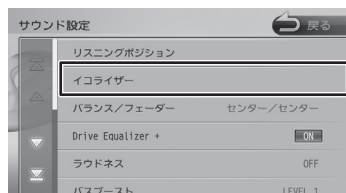
ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソースごとに設定します。

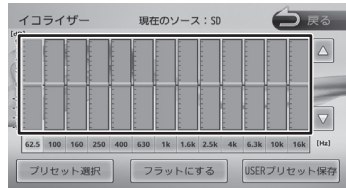
ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してイコライザーカーブを調整することもできます。

1 設定したいソースを選ぶ

2 [イコライザー] にタッチする



3 画面を指でなぞる

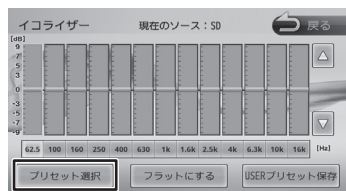


[フラットにする] :
すべての音域をフラットにします。

- 調整したい周波数を選んでタッチし、 Δ / ∇ にタッチしてレベルを調整することもできます。

■ プリセットイコライザー (ジャンル) をベースにイコライザーカーブを調整する

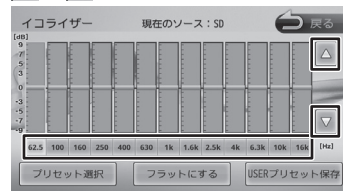
1 イコライザー画面で [プリセット選択] にタッチする



2 ベースにしたいプリセットイコライザー (ジャンル) にタッチする



3 調整したい周波数を選んでタッチし、 Δ / ∇ にタッチしてレベルを調整する



選択しているソースに設定されます。

調整したイコライザーカーブを保存する

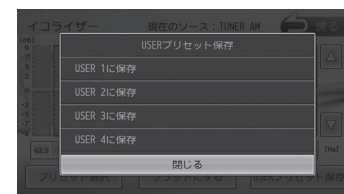
ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーのUSER1~4に保存できます。

1 イコライザーカーブを調整する

2 [USERプリセット保存] にタッチする



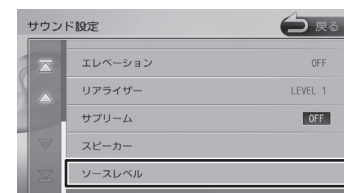
3 保存先にタッチする



ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1 [ソースレベル] にタッチする



2 \oplus または \ominus にタッチして、音量を調整する



[初期値に戻す] :
ソースの音量レベルを初期設定に戻します。

- 「音楽 DISC」の音量レベルは固定です。
- [iPhone との接続方法] を "Bluetooth" にしているときは、iPod ソースと BT AUDIO ソースの音量レベル設定は「iPod/BT AUDIO」で調整してください。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

設定できる項目は以下のとおりです。

1 【HOME】を押して[情報・設定]にタッチする

2 [システム]にタッチする



3 設定する項目にタッチする



● AV

項目	設定	説明
録音音質	標準*/高音質	音楽CDから録音するときの録音音質を設定します。(→P.78)
残り録音可能時間	—	残りの録音可能時間を確認できます。
SDカード初期化	—	SDカードの初期化を行います。SDカード内のデータは、すべて消去されます。
iPhoneとの接続方法	USB*/Bluetooth	iPodソースを使うときのiPhoneまたはiPod touchの接続方法を設定します。

● 音量

項目	設定	説明
案内音声出力時のAV音量	そのまま/下げる*/消音	音声案内時のAVソースの音量を設定します。
リバース時のAV音量ダウン	ON*/OFF	バックするときAVソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない*/更新間隔:速/更新間隔:中/更新間隔:遅	電源オン時にAVの音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。

● 表示

項目	設定	説明
画面の明るさ	イルミ OFF : -5 ~ +5* イルミ ON : -5 ~ +1* ~ +5	画面の明るさを調整します。「イルミ OFF」は車両のライトスイッチがオフのときに、「イルミ ON」はライトスイッチがオンのときに調整してください。
映像画面/消灯画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中と画面オフ時に時計を表示するかどうかを設定します。画面オフ中/映像表示中以外の画面(現在地図画面など)では、この設定を「OFF」にしても、時計表示を消すことはできません。

● 車両

項目	設定	説明
車両ナンバー	軽/5・7*/3/1	車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
オートアンテナ	あり/なし*	オートアンテナを装着している場合に設定します。
リアカメラ接続	なし*/汎用カメラ/専用カメラ	リアビューカメラの接続を設定します。(→P.124)
リアカメラ調整	—	専用カメラの調整を行います。汎用カメラの場合はガイド線を調整します。
ステアリングリモコン	—	車両のステアリングリモコンで本機を操作できるように設定します。(→P.127)
ステアリングリモコン学習	—	ステアリングリモコンの動作を設定します。(→P.128)

● その他

項目	設定	説明
操作音の出力	ON*/OFF	操作音の出力をするかしないかを設定します。
ショートカットボタン登録	—	マイメニューのショートカットボタンに機能を割り当てます。(→P.20)
暗証番号登録	—	本機の起動のための暗証番号を設定します。(→P.103)
暗証番号解除	—	設定した暗証番号を解除します。(→P.103)
暗証番号変更	—	設定した暗証番号を変更します。(→P.103)
セキュリティインジケータ	ON/OFF*	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケータを点滅させるかどうかを設定します。
オープンソースライセンス	—	ライセンスを表示します。
設定データの書き出し	—	設定をSDカードに保存します。(→P.102)
設定データの読み込み	—	書き出した設定データを本機に読み込みます。(→P.102)
システムの初期化	—	ユーザーが登録したデータ(登録地点、検索履歴など)を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。

*: お買い上げ時の設定です。

暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

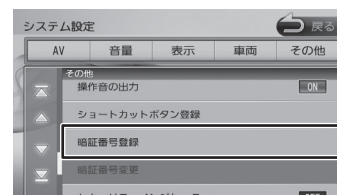
暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

・暗証番号記入欄

--	--	--	--	--	--	--	--

暗証番号を忘れた場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

- 1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする
- 2 [システム] にタッチする
- 3 「その他」の [暗証番号登録] にタッチする



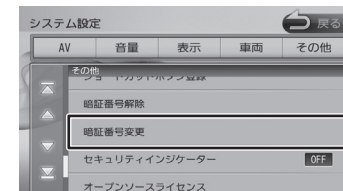
- 4 設定する 4 ~ 8 桁の暗証番号を入力し、[決定] にタッチする



- 5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定] にタッチする

暗証番号を変更する

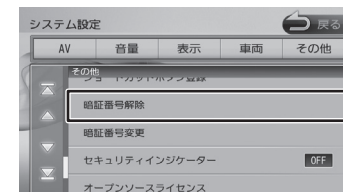
- 1 「その他」の [暗証番号変更] にタッチする



- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定] にタッチする
- 3 新しく設定する 4 ~ 8 桁の暗証番号を入力し、[決定] にタッチする
- 4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定] にタッチする

暗証番号を解除する

- 1 「その他」の [暗証番号解除] にタッチする



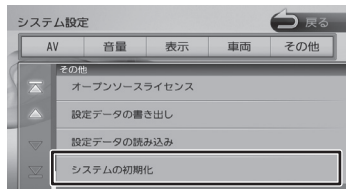
- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定] にタッチする
現在の暗証番号が解除されます。

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。次の項目は、設定を初期化しても削除されません。

- ・暗証番号
- ・SD カードに録音した曲

- 1 「その他」の [システムの初期化] にタッチして、[はい] にタッチする



設定を SD カードに保存する

本機の設定を SD カードに保存（書き出し）することができます。

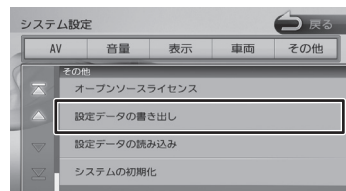
次の項目は、SD カードに保存（書き出し）できません。

- ・センサの学習データ
- ・暗証番号
- ・ステアリングリモコン設定（ステアリングリモコン学習内容を含む）

次の項目は設定データを読み込んだときに初期化されます。

- ・走行軌跡データ
- ・ECO データ
- ・目的地または経由地の検索履歴
- ・Bluetooth 機器の登録
- ・本機のハンズフリー電話帳 / 着信履歴 / 不在着信履歴 / 発信履歴
- ・ナビのデバイス名 (Bluetooth)
- ・PIN コード (Bluetooth)

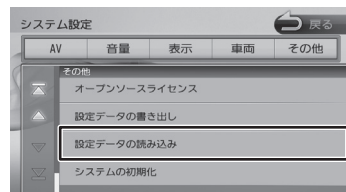
- 1 「その他」の [設定データの書き出し] にタッチして、[はい] にタッチする



SD カードに保存されると自動で再起動します。

設定データを本機に読み込む

- 1 「その他」の [設定データの読み込み] にタッチして、[はい] にタッチする



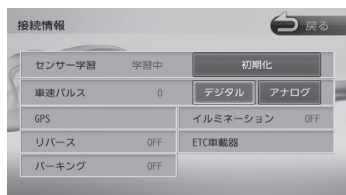
読み込みが終了すると自動で再起動します。

接続状態を確認する

本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

1 **[HOME]** を押して **[情報・設定]** にタッチする

2 **[接続]** にタッチする



接続情報が表示されます。

表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。 [初期化] にタッチすると、センサーの学習を初期化します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。 [デジタル] または [アナログ] にタッチすると、パルス入力モードを切り替えます。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
リバース	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキング	パーキング検出コードの接続状態を表示します。

項目	説明
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
ETC 車載器	ETC 車載器の接続状態を表示します。



・センサーの学習初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を基に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。タイヤを交換した後、自車位置のずれが大ききようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。

センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。



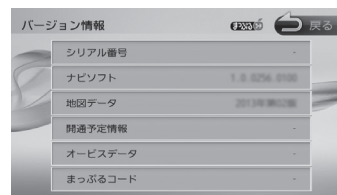
・センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
・GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

1 **[HOME]** を押して **[情報・設定]** にタッチする

2 **[バージョン]** にタッチする



バージョン情報が表示されます。

地図更新について

開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。詳細は http://www2.jvckenwood.com/faq/ce_navi/index.html をご覧ください。

KENWOOD MapFan Club を利用して地図を更新する

KENWOOD MapFan Club のサービスとは

「KENWOOD MapFan Club」は、インクリメント P 株式会社 が提供するサービス「MapFan」と KENWOOD のカーナビが連動した会員制地図更新サービスプログラムです。

「MapFan プレミアム 年額コース」にご入会いただき、会員期間中であれば、2015 年から最大 5 年間、最大年 2 回の地図更新が可能になります。

サービスの詳細や会員登録については、同梱の KENWOOD MapFan Club に関するお知らせをお読みください。

また、当社ホームページからもご覧になれます。
http://www2.jvckenwood.com/faq/ce_navi/mapfan/index.html

また、オービスデータの SD 版またはデータダウンロード版をお得に購入することもできます。オービスデータの購入については当社ホームページ http://www2.jvckenwood.com/faq/ce_navi/memory/obis_download/index.html をご覧ください。

会員登録は本機に表示される QR コードを使って登録できます。

QR コードを使って KENWOOD MapFan Club に登録する



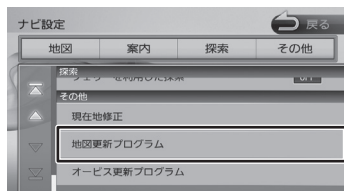
• あらかじめ、スマートフォンに QR コード読み込みアプリケーションのインストールが必要です。

1 【HOME】を押して【情報・設定】にタッチする

2 【ナビ】にタッチする



3 「その他」の【地図更新プログラム】にタッチする



4 画面に表示されている QR コードを携帯電話またはスマートフォンで読み取る

「KENWOOD MapFan Club」会員登録サイトにアクセスします。

5 【会員 / カーナビ登録】にタッチして会員登録する

画面に従って会員登録を行ってください。



• カーナビ登録に使用する「モデル名」と「シリアル番号（製造番号）」は QR コード表示画面（手順 4）に表示されます。

Bluetooth 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。



Bluetooth
接続中
アイコン

ハンズフリー通話の画面や Bluetooth オーディオ画面には、Bluetooth 機器の電波の受信状態やバッテリー残量が表示されます。

電波の受信状態 バッテリー残量



- Bluetooth 機器は 5 台まで登録できます。
- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の携帯電話の表示と一致しない場合があります。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、147 ページをご覧ください。
- 本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときは、他の Bluetooth 機器が接続されていないときに行ってください。Bluetooth 機器が接続されているときは、接続を解除してから行ってください。

Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

本機は Bluetooth Ver.2.1+EDR のセキュアシンプルペアリングに対応しています。



- iPhone/iPod touch を登録する場合は、109 ページをご覧ください。
- 手順 2 で Bluetooth 機器から本機を選ぶときの名前を変えることができます。（→ P.112）

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器で“MDV-D502BTW”または“MDV-D502BT”を選ぶ

Bluetooth 機器により、次のどちらかの画面が表示されます。

Bluetooth 機器側で PIN コードまたは入力画面が表示された場合

108 ページの「A」に進みます。



パスキーを確認する画面が表示された場合

108 ページの「B」に進みます。



A2DPに対応している機器の場合は「このBluetooth機器とBT Audio/アプリケーション連携接続しますか?」と表示されます。

【はい】:
ハンズフリー接続、BT AUDIO再生、本機対応のスマホアプリケーションをBluetooth接続で使用します。

【いいえ】:
ハンズフリー接続のみとなります。

PBAPに対応している機器の場合は「このBluetooth機器の電話帳を登録しますか?」と表示されます。

【はい】:
電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

【いいえ】:
電話帳の登録はしません。

登録と接続が完了すると、本機の画面にBluetooth接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳登録中に[終了]にタッチすると登録を中断します。
- 電話帳の登録はここで【いいえ】にタッチしても後から登録できます。(→ P.117)
- 電話帳は最大1000件分(1件あたり最大5番号まで)の電話番号を本機に登録することができます。電話帳登録中は、カーナビ連携スマホアプリケーションとは一時的に連携できません。
- 電話帳登録中に画面を地図画面やHOME画面に切り替えたり、ソースを切り替えると、電話帳登録を中断します。中断した場合は、電話帳を登録しなおしてください。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- オートペアリング機能をオフにして本機に登録する場合は、107ページの手順1から行ってください。
- システム設定の[iPhoneとの接続方法](→ P.74)が"Bluetooth"に設定されているとオートペアリングでの登録はできません。



- 電話帳は最大1000件分(1件あたり最大5番号まで)の電話番号を本機に登録することができます。電話帳登録中は、カーナビ連携スマホアプリケーションとは一時的に連携できません。
- iPodソース中(iPhoneとの接続方法)設定が"Bluetooth"のときに電話帳を登録すると、iPodの接続が一時的に切断されます。
- 電話帳登録中に画面を地図画面やHOME画面に切り替えたり、ソースを切り替えると、電話帳登録を中断します。中断した場合は、電話帳を登録しなおしてください。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

オートペアリング機能で登録する

iPhoneまたはiPod touchを本機にUSB接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単にiPhoneまたはiPod touchを登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth設定でオフにすることもできます。(→ P.110)



- iOS4以下には対応していません。107ページの登録方法で登録してください。
- iOS5以上でも登録ができない場合は107ページの登録方法で登録してください。

1 iPhoneまたはiPod touchのBluetooth設定をオンにする

2 iPhoneまたはiPod touchをUSBケーブルで接続する

接続方法は74ページをご覧ください。本機に次の画面が表示されます。

3 デバイス名とパスキーを確認し、【はい】にタッチする



A 表示された本機のPINコードをBluetooth機器に入力する



初期設定は"0000"に設定されています。Bluetooth機器によっては、PINコードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。

その場合は、本機のPINコードを確認してからBluetooth機器に入力してください。PINコードは、「Bluetooth設定」から確認できます。(→ P.110)

A2DPに対応している機器の場合は「このBluetooth機器とBT Audio/アプリケーション連携接続しますか?」と表示されます。

【はい】:
ハンズフリー接続、BT AUDIO再生、本機対応のスマホアプリケーションをBluetooth接続で使用します。

【いいえ】:
ハンズフリー接続のみとなります。

PBAPに対応している機器の場合は「このBluetooth機器の電話帳を登録しますか?」と表示されます。

【はい】:
電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

【いいえ】:
電話帳の登録はしません。

登録と接続が完了すると、本機の画面にBluetooth接続中アイコンが表示されます。

B デバイス名とパスキーを確認し、【はい】にタッチする



Bluetooth機器の登録がはじまります。Bluetooth機器によっては、デバイス名またはパスキーのみが表示され、自動的に登録がはじまるものがあります。

A2DPに対応している機器の場合は「このBluetooth機器とBT Audio/アプリケーション連携接続しますか?」と表示されます。

【はい】:
ハンズフリー接続、BT AUDIO再生、本機対応のスマホアプリケーションをBluetooth接続で使用します。

【いいえ】:
ハンズフリー接続のみとなります。

PBAPに対応している機器の場合は「このBluetooth機器の電話帳を登録しますか?」と表示されます。

【はい】:
電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

【いいえ】:
電話帳の登録はしません。

登録と接続が完了すると、本機の画面にBluetooth接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳登録中に[終了]にタッチすると登録を中断します。
- 電話帳の登録はここで【いいえ】にタッチしても後から登録できます。(→ P.117)

Bluetooth の設定をする

- 1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする
- 2 [Bluetooth] にタッチする



Bluetooth 設定画面が表示されます。

設定できる項目は以下のとおりです。

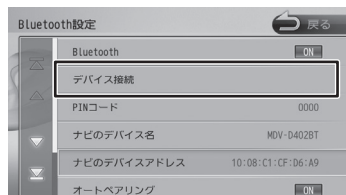
項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/OFF	Bluetooth 機能をオン/オフします。オフにすると確認メッセージが表示されます。
デバイス接続	—	本機に Bluetooth 機器を接続します。(→ P.110)
PIN コード	—	現在の本機の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。(→ P.112)
ナビのデバイス名	—	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。(→ P.112)
ナビのデバイスアドレス	—	本機のデバイスアドレスが表示されます。
オートペアリング	ON*/OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	ON/OFF*	着信時に、自動的に通話可能になります。

*: お買い上げ時の設定です。

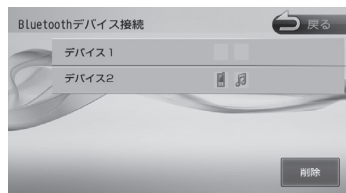
登録した機器を接続 / 解除する

Bluetooth 機器を接続する

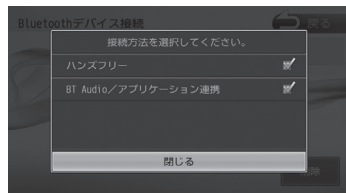
- 1 [デバイス接続] にタッチする



- 2 接続する Bluetooth 機器にタッチする



- 3 接続する種別にタッチする



ハンズフリー:

ハンズフリー電話を使用します。

BT Audio/ アプリケーション連携

BT AUDIO 再生と本機対応のスマートフォン連携アプリを Bluetooth 接続で使用します。

接続方法を選択すると機器にアイコンが表示されます。

: ハンズフリー接続

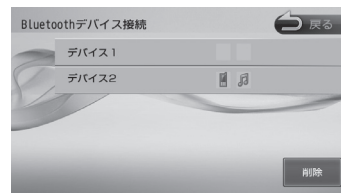
: BT Audio/ アプリケーション連携接続



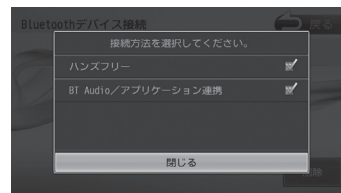
Bluetooth 機器を複数登録している場合、ハンズフリー、BT Audio/ アプリケーション連携接続はそれぞれ 1 台まで設定できます。接続する機器を切り替えたい場合は接続したい機器の接続種別を選び直してください。

Bluetooth 機器の接続を解除する

- 1 「Bluetooth 機器を接続する」(110 ページ) の手順 2 で解除したい Bluetooth 機器にタッチする



- 2 チェックマークにタッチする

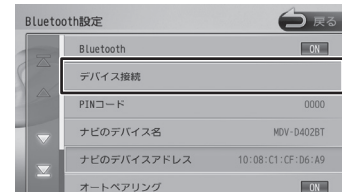


チェックマークがすべて外れていれば、接続を解除することになります。

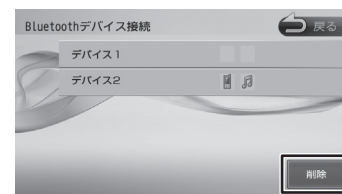
登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

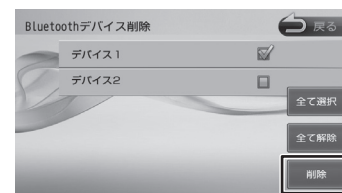
- 1 [デバイス接続] にタッチする



- 2 [削除] にタッチする



- 3 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチし、[削除] にタッチする
複数選択することもできます。



[全て選択]:

リスト内のすべての機器を選択します。

[全て解除]:

リスト内のすべての機器の選択を解除します。

- 4 [はい] にタッチする

選択した機器が削除されます。

PIN コードを変更する

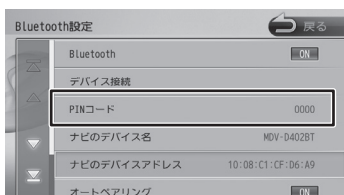
接続する Bluetooth 機器に合わせて、本機の PIN コードを変更できます。

1 **[HOME]** を押して **[情報・設定]** にタッチする

2 **[Bluetooth]** にタッチする



3 **[PIN コード]** にタッチする



4 PIN コードを入力して **[決定]** にタッチする



PIN コードが変更されます。

[BS] :
カーソルの前にある文字を消去します。

- 入力できる PIN コードは 4 桁です。

本機のデバイス名を変更する

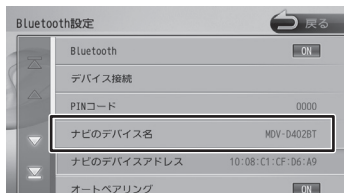
本機に Bluetooth 機器を登録 (ペアリング) するときに選択するデバイス名を変更することができます。

1 **[HOME]** を押して **[情報・設定]** にタッチする

2 **[Bluetooth]** にタッチする



3 **[ナビのデバイス名]** にタッチする



4 デバイス名を入力して **[決定]** にタッチする



デバイス名が変更されます。

[小文字] :
アルファベットの小文字を入力できます。

- デバイス名は 20 文字まで入力できます。入力できる文字はアルファベット (大文字、小文字) と数字のみです。

ハンズフリーを使う

本機に登録 (ペアリング) した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

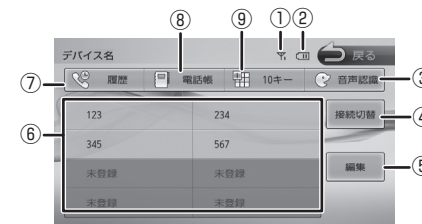
電話画面を表示する

1 **[HOME]** を押して **[電話]** にタッチする



電話画面が表示されます。

画面の見かたと操作



- ① 電波受信状態**
接続した Bluetooth 機器の電波受信状態が表示されます。
- ② バッテリー残量**
接続した Bluetooth 機器のバッテリー残量が表示されます。
- ③ [音声認識]**
スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。(→ P.119)
- ④ [接続切替]**
Bluetooth デバイス接続画面を表示します。(→ P.110)
- ⑤ [編集]**
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。(→ P.115)
- ⑥ プリセットダイヤル**
プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。(→ P.114)
- ⑦ [履歴]**
PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。(→ P.116)
- ⑧ [電話帳]**
電話帳を表示します。(→ P.116)
- ⑨ [10 キー]**
電話番号を入力します。(→ P.118)

- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。

プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 [編集] にタッチする



2 ■ 全て削除する場合

[全て削除] にタッチする



[はい] にタッチする

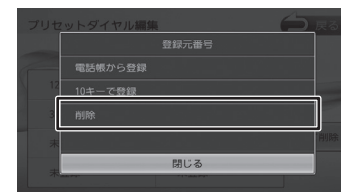
全てのプリセットダイヤルが削除されます。

■ 選んで削除する場合

削除したいプリセットダイヤルにタッチする



[削除] にタッチする



[はい] にタッチする

選択したプリセットダイヤルが削除されます。

プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

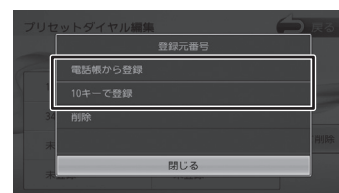
1 [編集] にタッチする



2 登録するプリセットにタッチする



3 登録方法にタッチし、電話番号を登録する



[電話帳から登録] :

登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

[10キーで登録] :

電話番号を入力し、[登録] にタッチします。

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。

あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。(→ P.115)

1 電話画面を表示する (→ P.113)

2 発信するプリセットダイヤルにタッチする

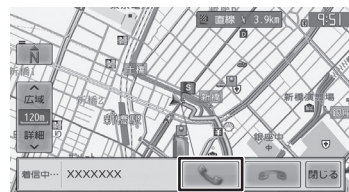


選択した電話番号に発信されます。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 [電話] にタッチする



(通話終了) :
着信を拒否します。



プライベート通話 (携帯電話) とハンズフリー通話を切り替えます。

- [閉じる] にタッチすると着信画面を消すことができます。もう一度表示させるには画面右上に [着信中...] または [通話中...] ボタンが表示されているときにタッチすると表示されます。

2 通話が終わったら、[電話] にタッチする

関連キーワード

- 着信の自動応答
着信したときに自動で電話を受けるように設定できます。(→ P.110)
- 通話音量
ハンズフリー通話時の受話音量は、AVの音量と独立して調整できます。(→ P.13)

履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴から発信することができます。PBAP に対応していない機器は使用できません。

1 電話画面を表示する (→ P.113)

2 [履歴] にタッチする



機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。

アクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。

3 [不在着信] / [着信] / [発信] のいずれかにタッチする



4 発信する履歴にタッチして、[はい] にタッチする



選択した電話番号に発信されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

1 [電話帳] にタッチする



2 発信する相手にタッチする



3 発信する電話番号にタッチして、[はい] にタッチする



選択した電話番号に発信されます。

電話帳を登録する

電話帳は最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の電話番号を本機に登録することができます。



- 電話帳登録中は、カーナビ連携スマホアプリケーションとは一時的に連携できません。
- 「iPhone との接続方法」設定が、「Bluetooth」のときは、iPod ソース中に電話帳を登録すると、iPod の接続が一時的に切断されます。
- 電話帳登録中に画面を地図画面や HOME 画面などに切り替えたりソースを切り替えると、電話帳登録を中断します。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

1 [電話帳] にタッチする



2 [登録] にタッチする

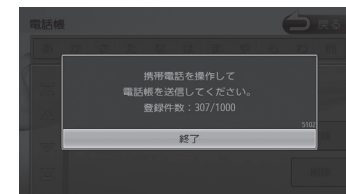


PBAP 対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。

機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。

アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

OPP 対応機器の場合は機器を操作して本機に登録する電話帳データを送信してください。電話帳の送信方法は、お使いの OPP 対応機器の取扱説明書をご覧ください。登録が終了したら [終了] にタッチします。



電話帳を削除する

1 [電話帳] にタッチする

2 [削除] にタッチする



3 削除する電話番号にタッチして、[削除] にタッチする

複数選択することもできます。



[全て選択] :

すべての電話番号を選択します。

[全て解除] :

すべての選択を解除します。

4 [はい] にタッチする

選択した電話番号が削除されます。

音声認識機能を使って電話をかける

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけることができます。

1 [音声認識] にタッチする



スマートフォンの音声認識機能が起動します。

2 電話番号または電話帳の名前を話す

【開始】

音声を認識できる状態にします。

【終了】

音声認識機能を終了します。



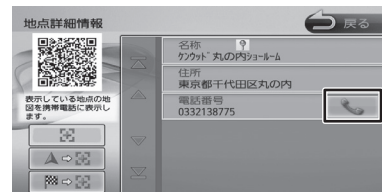
- HOME 画面の [音声認識] からでも電話をかけることができます。
- スマートフォンが音声認識機能に対応していない場合は、使用できません。
- スマートフォンの機種によっては、電話をかける動作ができない場合があります。

地点情報画面から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 ▶ 地点の詳細情報画面を表示する (→ P.24)

1 [電話] にタッチして、[はい] にタッチする



電話が発信されます。



- 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

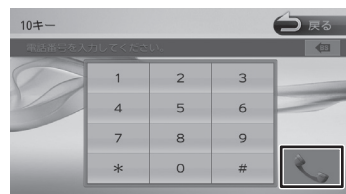
ダイヤルして電話をかける

1 電話画面を表示する (→ P.113)

2 [10 キー] にタッチする



3 電話番号を入力して、[電話] にタッチする



4 [はい] にタッチする

入力した電話番号に発信されます。

Bluetooth オーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを BT AUDIO に切り替える（→ P.55）



- ① リピート / ランダム再生モード
- ② 曲名
- ③ アルバム名
- ④ アーティスト名
- ⑤ ファイル番号
- ⑥ 再生時間 / 総再生時間
- ⑦ 音声形式
- ⑧ バッテリー残量
- ⑧ デバイス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替]	接続する Bluetooth 機器を切り替えます。（→ P.110）
▶	再生します。
⏸	一時停止（ポーズ）をします。
⏮ / ⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。
🔄 ALL	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
🎲 OFF	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。



- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法（スキップ操作やランダム再生モード切替など）を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応オーディオプレーヤーをハンズフリー接続したときに表示されます。

関連キーワード

● 本機への登録（ペアリング）

Bluetooth 機器の登録や接続については「Bluetooth 機器を登録する」をご覧ください。（→ P.107）

● 対応プロファイル

「Bluetooth について」をご覧ください。（→ P.147）

ETC 車載器を使う

ETC 情報について

ETC (Electronic Toll Collection System) は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

- 本機の対応ETC車載器は、次のとおりです。
 - 株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5310 ETC/ステアリングリモコン対応ケーブル KNA-300EX (別売品)
- 本機に ETC 車載器を接続すると、本機から音声案内をします。ETC 車載器からの音声案内は行いません。ただし、ETC カードについての音声案内は ETC 車載器から行います。

ETC の音声出力を設定する

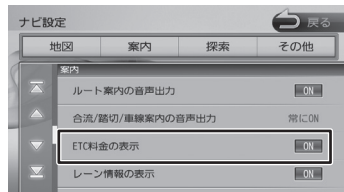
ETC の音声案内を出力するかどうかを設定します。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする



3 「案内」の [ETC 音声の出力] にタッチする



[ON] :
ETC の音声案内をします。

[OFF] :
ETC の音声案内をしません。

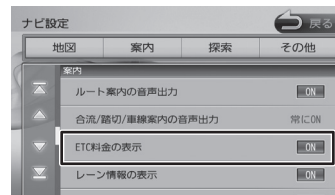
料金表示を設定する

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする



3 「案内」の [ETC 料金の表示] にタッチする



[ON] :
ETC 料金を表示します。

[OFF] :
ETC 料金を表示しません。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

2 [ETC] にタッチする



ETC履歴情報

日時	料金	詳細
2014/03/03 07:51	1700円	東京都第一区間
2014/02/28 20:25	1450円	東京都第一区間
2014/02/24 07:51	1700円	東京都第一区間
2014/02/21 20:04	1450円	東京都第一区間
2014/02/09 21:12	700円	東京都第一区間
2014/02/07 20:05	1450円	東京都第一区間

[車載器情報] :
車載器の情報を表示します。

車載器情報

車載器管理番号	000000 000000 100123
型式登録番号	00000
型式名	DIU5310
統一エラーコード	7
カード有効期限	2016/09/30

- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カード挿入時のみ表示されます。

リアビューカメラを使う

リアビューカメラを設定する

本機は、リアビューカメラを接続することができます。リアビューカメラにはCMOS-220(別売品)またはCMOS-320(別売品)が接続できます。

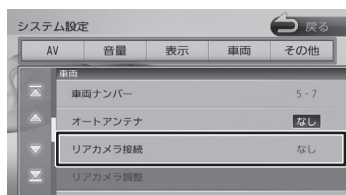
接続するカメラを設定する

1 **【HOME】** を押して **【情報・設定】** にタッチする

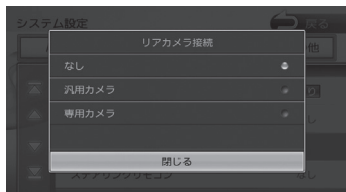
2 **【システム】** にタッチする



3 **【車両】** の **【リアカメラ接続】** にタッチする



4 接続するカメラの種類にタッチする



【専用カメラ】:
CMOS-320 を接続します。

【汎用カメラ】:
CMOS-220 または市販のカメラを接続します。

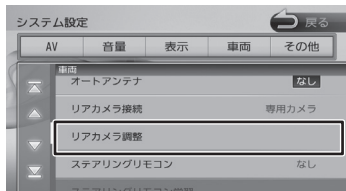
【なし】:
リアビューカメラを接続しません。

CMOS-320 のカメラ設定をする

CMOS-320 (別売品) を接続したときは、本機の画面上でCMOS-320のカメラ設定ができます。

- CMOS-320のカメラ設定を行うには、本機にCMOS-320を接続し、カメラの接続設定を「専用カメラ」に設定する必要があります。

1 **【車両】** の **【リアカメラ調整】** にタッチする



CMOS-320 の設定画面が表示されます。設定方法については、CMOS-320 の取扱説明書をご覧ください。

リアビューカメラの映像を表示する

本機に接続したリアビューカメラの映像を表示します。カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度(徐行)でご使用ください。

- リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

1 シフトレバーを“R”(リバース)にする



リアビューカメラの映像が表示されます。

- シフトレバーを“R”(リバース)にしてもリアビューカメラの映像が表示されないときは、リバース検出コードの接続を確認してください。

リアビューカメラ操作ボタンを使う

リアビューカメラ映像にタッチすると、リアビューカメラ操作ボタンが表示されます。



【非表示】:
リアビューカメラ操作ボタンを消します。

【ビュー】:
リアビューカメラの視点を切り替えます。(CMOS-320 接続時のみ)

【ガイド線】:
リアビューカメラ映像にガイド線を表示します。もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

【上位置】 / 【下位置】:
警告文の位置表示を変更します。



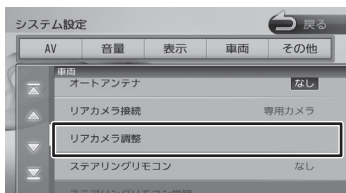
- 警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に変更してください。

リアビューカメラのガイド線を調整する

リアビューカメラ映像に表示されるガイド線の位置を調整します。ガイド線の調整方法は、接続しているカメラによって異なります。

CMOS-320 を接続している場合

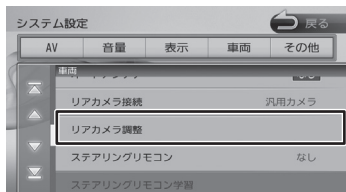
1 「車両」の「リアカメラ調整」にタッチする



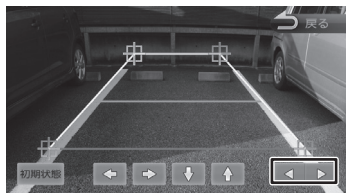
CMOS-320 の設定画面が表示されます。設定方法については、CMOS-320 の取扱説明書をご覧ください。

CMOS-220 または市販品を接続している場合

1 「車両」の「リアカメラ調整」にタッチする

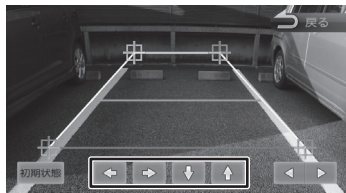


2 ◀ または ▶ にタッチして、調整するカーソル (中) を選択する



市販品を接続している場合にカメラの映像が表示されないときは、パーキングブレーキを引いて、シフトレバーを「R」（リバース）に入れてください。

3 ◀ / ▶ / ↓ / ↑ にタッチして、ガイド線を調整する



【初期状態】：
ガイド線の位置を初期状態に戻します。

ステアリングリモコンを使う

ステアリングリモコンについて

本機にお使いの車のステアリングリモコンを接続し、設定を行うと、ステアリングリモコンから本機を操作することができます。

ステアリングリモコン設定には、次の設定があります。

■ 車両設定

お使いの車のメーカーに合わせたステアリングリモコンのキー割り当てが自動的に設定されます。(→ P.127)

■ ユーザー学習

独自にステアリングリモコンのキーを割り当てた場合に、この設定を行います。(→ P.128)
独自に割り当てた機能は、後から変更することもできます。(→ P.129)



- 本機とステアリングリモコンの接続ケーブルは、ETC/ステアリングリモコン対応ケーブル KNA-300EX (別売品) です。
- 車両の対応については、下記ホームページをご覧ください。
http://www2.jvckenwood.com/products/car_audio/option/etocable/index.html
- 音量を上げるキーを押し続けると連続して音量値が 25 まで上がります。

ステアリングリモコンの設定をする

お使いの車のステアリングリモコンを本機で操作できるように設定します。

車両を選んで設定する

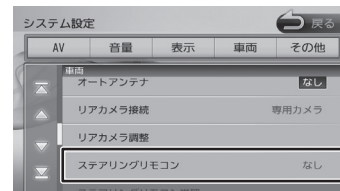
お使いの車のメーカーに合わせたステアリングリモコンのキー割り当てを設定します。

1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチする

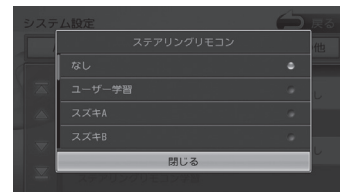
2 [システム] にタッチする



3 「車両」の「ステアリングリモコン」にタッチする



4 お使いの車のメーカーにタッチする



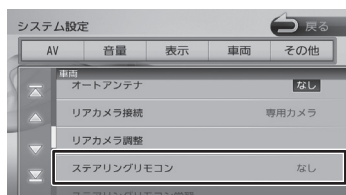
【ユーザー学習】：
独自に機能を割り当てる場合に選択します。(→ P.128)

独自に機能を割り当てる

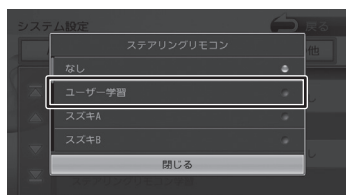
ステアリングリモコンのキーに機能割り当て（ステアリングリモコン学習）を行います。

- ステアリングリモコンキーの割り当てが完了した後で、キーを追加することはできません。追加したい場合は学習の初期化（→ P.129）を行い、再度キーの割り当てを行ってください。

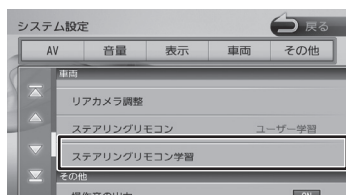
1 「車両」の【ステアリングリモコン】にタッチする



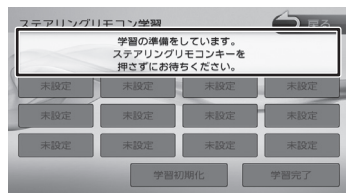
2 【ユーザー学習】にタッチする



3 「車両」の【ステアリングリモコン学習】にタッチする

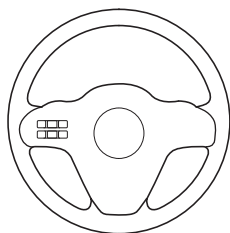


学習が開始できるまでしばらくお待ちください。ステアリングリモコンは押さないでください。

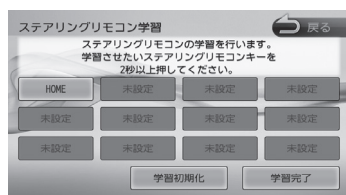
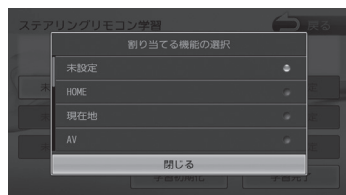


囲った部分のメッセージが、「ステアリングリモコンの学習を行います。学習させたいステアリングリモコンキーを2秒以上押してください。」と表示されたら学習を開始してください。

4 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを約2秒以上押す



5 割り当てる機能にタッチする



割り当てた機能が表示されます。さらに機能を割り当てる場合は、手順4と5を繰り返します。

6 【学習完了】にタッチする

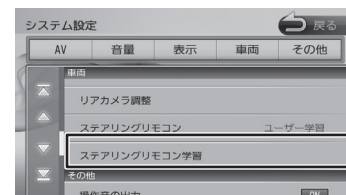
設定できる機能は以下のとおりです。

キー	機能
未設定	設定しません。
HOME	HOME 画面を表示します。押し続けると、画面コントロールメニューを表示します。
現在地	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。
AV	AV 画面を表示します。押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。
SRC	ソース切替画面を表示します。
目的地	目的地検索画面を表示します。
マイメニュー	マイメニュー画面を表示します。
MODE	押すごとに AV ソースが切り替わります。押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。
ATT	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
VOL▲ / VOL▼	AV、ハンズフリー通話の音量を調整 (0 ~ 40) します。
ラジオ / 地デジ	放送局を切り替えます。押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
音楽 / ビデオ再生	前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。押し続けると、早送り / 早戻しします。
詳細	詳細な地図を表示します。(地図画面表示中)
広域	広域な地図を表示します。(地図画面表示中)
ハンズフリーの電話を受けます。(Bluetooth 接続中)	
ハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)	
着信時に押すと着信拒否します。	
ハンズフリーの電話を受けます。着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)	
音声認識	スマートフォンの音声認識機能を起動します。(Bluetooth 接続中)

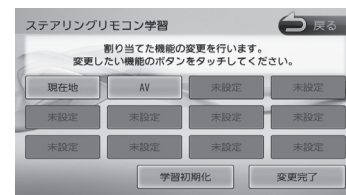
ステアリングリモコンキーの割り当てを変更 / 初期化する

独自に割り当てたステアリングリモコンキーの変更や消去、初期化ができます。初期化は手順2で【学習初期化】にタッチしてください。

1 「車両」の【ステアリングリモコン学習】にタッチする

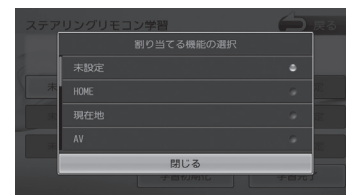


2 割り当てを変更するボタンにタッチする



【学習初期化】：
ステアリングリモコンに割り当てたキー設定をすべて消去します。

3 割り当てる機能にタッチする



【未設定】：
キーに割り当てられた機能を消去します。

4 【変更完了】にタッチする

自転車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自転車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができなくなります。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2層構造の高速道路の下
 - 高層ビルの群衆地帯
 - 密集した樹木の間
- GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話

を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができなくなります。

- 3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

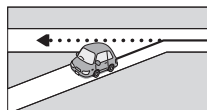
GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自転車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

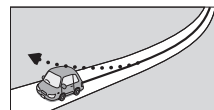
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さい Y 字路を走行した場合



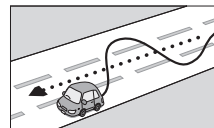
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



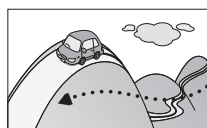
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



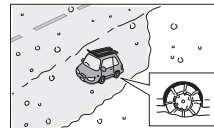
蛇行運転をした場合



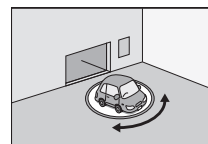
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



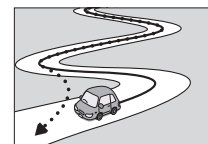
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



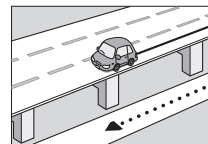
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



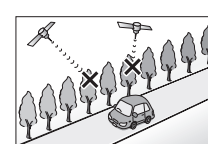
ヘアピンカーブが続いた場合



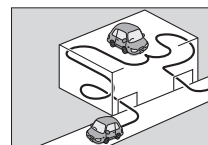
高速道路と側道などが隣接している場合



GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



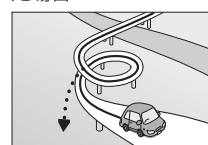
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



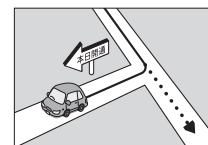
地下駐車場やトンネルなど、GPS 衛星による測位が長時間できない場合



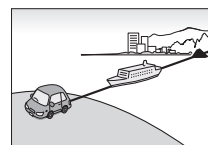
ループ橋などを走行した場合



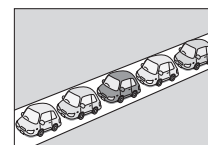
地図データにはない、新設道路を走行した場合



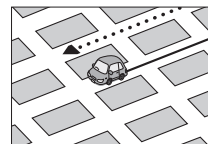
フェリーや車両運搬車で移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



暮盤の目状の道路を走行した場合



● 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合

● エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合

● 地図と実際の道路形状が異なる場合

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		スキー		その他学校		SA
	都道府県庁舎		キャンプ		保健所		PA
	市特別区庁舎		遊園地		税務署		JCT
	町村指定都市区庁舎		動物園		発電所		IC/JCT (併設)
	官庁公共施設		公園		裁判所		IC/SA (併設)
	警察		ホテル		灯台		IC/PA (併設)
	消防		スタジアム		ホール		SA/JCT (併設)
	学校		スポーツ施設		スマートIC		PA/JCT (併設)
	郵便局		植物園		その他の目的物		料金所
	病院		美術館		NTT		スマートIC
	デパート/スーパー		博物館		サッカー		ガソリンスタンド
	カー用品店		水族館		テニスコート		レストラン
	IC		図書館		ディスカウントストア		スナック
	SA		博物館		ビルアパート名称		ショッピング
	PA		テーマパーク		道の駅		ハイウェイオアシス
	パーキング		城・天守閣		ヘリポート		インフォメーション
	工場		展望タワー		乗馬		休憩所
	飛行場		温泉		体育館		ハイウェイ情報ターミナル
	フェリー		山頂		牧場		ベビーコーナー
	港		自衛隊		ホール		ドッグラン
	料金所		墓地		自動車学校		障害者用トイレ
	マリーナ		ボウリング場		トンネル		ATM
	史跡名勝		サッカー		船着場(観光船等)		トイレ
	城跡		競馬場ウインズ		野球場		
	神社		大学		展望台		
	寺院		短大				
	教会		高専				
	海水浴場		高校				
	ゴルフ場		中学校		サービスエリア (SA)		
			小学校		パーキングエリア (PA)		
					IC		
					スマートIC		

・表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 13-131) [2013年3月発行データ使用]
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号) 小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2,500分の1都市計画図を使用したものである。(平成12年 養建第1902号)
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号) 平10. 近公. 第34号
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15 大木建第734号)
- この地図は、堀家村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16 堀第5417号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18 東ア共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18 都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用し調製したものです。(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号) 周防建設第56号 平成18年5月12日承認
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18 東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。承認番号 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18 森政第5-5号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)

2013年9月調査で2014年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

抜け道データについて

- ぬけみちデータは、(株)昭文社発行の「抜け道データ2013年7月版」のデータを使用しています。

放送局リストのデータについて

- FM/AM放送局については2014年4月現在のものであります。放送局の開局、廃局、名称変更、周波数(チャンネル)変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

施設情報及び個人情報(電話番号)について

- 電話番号検索は、ハローページおよびタウンページのデータを使用しています。
 - これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
 - 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。
- なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
 - いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
 - この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
 - 収録するデータは、その正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
 - 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ©2009-2013(一般財団法人)日本デジタル道路地図協会
©2014 INCREMENT P CORP.

- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号平19林振第246号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号平23情使、第283号-46号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23田街第55号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号平24情使、第199号-46号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号平24情使、第780号-46号)

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2013年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。

駐車場データについて

- 駐車場データは、株式会社アイ・エム・ジェイ提供の2013年10月データを使用しています。

タウンページデータについて

- タウンページデータは、NTTタウンページ株式会社が提供する2013年9月現在のデータを使用しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

ハローページデータについて

- 訪問宅(個人宅)電話番号データ(ハローページデータ)は、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2013年9月時点のデータを使用しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

料金データについて

- 高速道路(有料道路を含む)料金データは、

- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。(承認番号平成18年11月30日指令水緑-947)
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。(承認番号笛まち第12-25号平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。(承認番号情企第590号平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号平成19年2月14日付け18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号平19林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号)平21樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号)平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号平18林振第497号)
- この地図は、東根市長の承認を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号東建収第8号平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号)H22幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号国地企調第180号平成22年9月28日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号平22業使、第311号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号平23情使、第43号-46号)

- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第115号平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号林振第484号平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号森整第010634号平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。承認番号18林第492号(平成18年10月6日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号森整第993号・平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号森整第1079号・平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号林18-1平成18年12月5日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号林18-2平成19年3月7日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号使18-1号平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号使18-3号平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号平18林振第360号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認平成19年8月8日付、承認番号林政19-482号、茨城県林政課長)

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「利用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第 1 条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第 3 条第 1 項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を利用者に許諾します。

第 2 条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアのものを本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者

以外の第三者にこれを使用させることは許されません。

第 3 条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第 5 条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を利用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から 2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第 11 条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第 12 条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりに契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。ホームページアドレス
<http://www2.jvckenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守したかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。掲載場所は「情報・設定」－「システム」－その他内の「オープンソースライセンス」です。

VICIS について

VICIS サービスの問い合わせ

VICIS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICIS の仕組みやサービスエリアなどについて
- 文字情報（レベル 1）、簡易図形情報（レベル 2）の情報表示について
＜問い合わせ先＞
VICIS センター 運用管理室
電話受付時間
9:30 ~ 17:45
(土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)
電話番号
0570-00-8831
※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

FAX 受付時間 24 時間
FAX 番号 (全国) 03-3562-1719

- VICIS 関連商品の機能や使用方法について
- サービスエリア内の受信可否について
- 地図表示（レベル 3）の情報表示について
＜問い合わせ先＞
JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS、IP 電話からは 045-450-8950
FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜 9:30 ~ 18:00
土曜 9:30 ~ 12:00、
13:00 ~ 17:30
(日曜、祝日および当社休日休ませさせていただきます)

- VICIS の最新情報について
VICIS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。
インターネット URL <http://www.vicis.or.jp/>
なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター（またはお買い上げの販売店）までご連絡ください。

VICIS リンクの更新について

VICIS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICIS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道

路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合、VICIS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しい VICIS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICIS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICIS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICIS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新については JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICIS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICIS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICIS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICIS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICIS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICIS サービス契約
当センターから VICIS サービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターと VICIS サービス契約を締結した者
(4) VICIS デスクランプラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICIS サービスの種類)

第 4 条 VICIS サービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形

- 態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICIS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICIS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICIS デスクランプラー 1 台毎に 1 の VICIS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICIS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICIS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICIS サービスは、VICIS 対応 FM 受信機（VICIS デスクランプラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICIS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICIS サービスの種類に対応した VICIS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICIS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICIS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICIS デスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICIS デスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条 1. 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICIS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICIS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICIS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICIS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICIS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要しま

す。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICIS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事にやむを得ないときは、VICIS サービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定により VICIS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICIS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICIS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICIS サービスの一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICIS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICIS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICIS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICIS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICIS センター）の技術が用いられています。

地上デジタルテレビ放送について

地上デジタル放送の受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がちぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がちぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。これらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたりする場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。これにより混信した場合、黒画面となり、音声が出なくなることがあります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させると、映像にブロックノイズが出たり、音がちぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 本機は、双方向データサービスおよびデータ放送には対応していません。

以下の点にご注意ください。

- 放送局からのおしらせメッセージなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機は ARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオレコーダーなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

地デジチャンネル変更（リパック）について

地上デジタル放送の受信障害解消のため、送信チャンネルが変更になる場合があります。

その際は、初期スキャンを行ってプリセットを登録しなおしてください。

地デジチャンネル変更に関する情報は、下記にお問い合わせください。

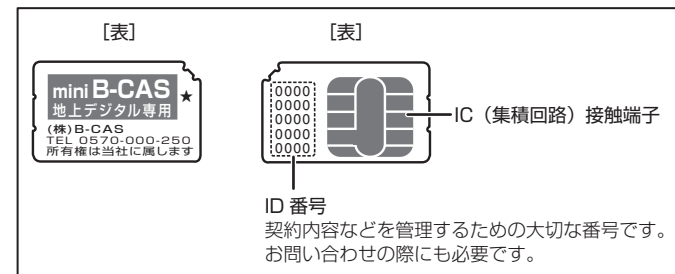
総務省 テレビ受信者支援センター（デジサポ）
<http://digisuppo.jp/>
 チャンネル変更コールセンター
 0120-922-303
 受付時間
 平日 9:00 ~ 21:00
 土日祝 9:00 ~ 18:00

当社ホームページでも情報が公開されています。
http://www2.jvckenwood.com/products/information/info_ch_repack.html

miniB-CAS カードについて

miniB-CAS カードは地上デジタルテレビ放送を受信するうえで必ず必要なカードです。

本機に付属の miniB-CAS カードには 1 枚ごとに異なる番号（ID 番号）が付与されています。ID 番号は大切な番号です。（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。



- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるために miniB-CAS カードが必要です。
- miniB-CAS カード取り扱い時には、次の点に留意してください。
 - miniB-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
 - miniB-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
 - miniB-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - miniB-CAS カードの IC (集積回路) 接触端子には手をふれないでください。
 - miniB-CAS カードの分解加工は行なわないでください。
 - miniB-CAS カードはカード挿入口に正しく挿入してください。
 - ご使用中に miniB-CAS カードの抜き差しはしないでください。地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - 付属の miniB-CAS カードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
 - 破損・紛失など miniB-CAS カードの再発行には手数料がかかります。
 - miniB-CAS カードの受信契約については、miniB-CAS カードの台紙に記載されている事項や B-CAS カード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
 - 付属の miniB-CAS カードを使用して、BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
 - miniB-CAS カードを破損・紛失などされた場合は、お客様より (株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。
 - 本機の修理を依頼されるときは、本機より miniB-CAS カードを抜いてお客様が保管してください。

miniB-CAS カードに関するお問い合わせ先について

付属の miniB-CAS カードについてご不明な点は、下記の B-CAS カスタマーセンターへお問い合わせください。
 (株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
 電話番号 0570-000-250 受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。

※携帯電話、PHS などの移動体通信機器および各種 LCR や交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CAS カードの台紙に記載されている「B-CAS カード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CAS カードの ID (識別) 番号の告知が必要になる場合があります。お客様の miniB-CAS カードの ID 番号は控えておいてください。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	—
	DVD オーディオ	×	—
	DVD-R	○	VR モード対応 (DVD-R/RW のみ) CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2層)	○	
	DVD-R DL (2層)	○	—
DVD-RAM	×	—	
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	—
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	—
	フォト CD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
CCCD	×	—	
その他	デュアルディスクスーパーオーディオ CD	×	—
	デュアルディスクスーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

- ：再生できます
△：一部のみ再生できます
×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/
Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）が着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に「バリ」がないことを確認してください。「バリ」がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。「バリ」があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、8cmCD アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。

DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard)には対応していません。

*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

- SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上の注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32 または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。
- 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB1.1/2.0 (High Speed) *1
デバイスクラス	マストレージクラス (MSC device) *2
最大消費電流	1A 以下
ファイルシステム	FAT16/FAT32*3

*1：USB3.0 には対応していません。

*2：使用する USB デバイスが USB マストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

*3：この他のファイルシステム (NTFS、exFAT 等) には対応していません。

USB 機器使用上の注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB ハブを介して USB 機器を接続しないでください。
- マルチカードリーダーを使用する場合は、複数のメモリーカードを挿さないでください。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック	メディア	CD	DVD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	×	×	○	○
	Vorbis	×	×	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます ×：再生できません

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7.8,9)	MPEG2/4 AAC LC, HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCMのみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit*	16bit	16bit/24bit*
ビットレート	8 ~ 320kbps, VBR	8 ~ 320kbps	8 ~ 320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング周波数	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 96kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 96kHz*
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル: 0 ~ 8		

*1：16bit 相当で再生します。

*2：DISC は 48kHz まで対応しています。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video	H.264/MPEG-4 AVC	WMV
対応形式	ISO MPEG4	H.264/MPEG-4 AVC	Windows Media Video Ver.9(VC-1)
ファイルコンテナ	AVI	MP4	ASF
拡張子	.avi	.mp4	.flv, .f4v
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル	ベースラインプロファイル、メインプロファイル	メインプロファイル
対応音声コーデック	MP3, AAC	MP3, AAC	WMA
最大ピクチャサイズ	1280 × 720	1280 × 720	1280 × 720
最大フレームレート	30fps	30fps	30fps
最大ビットレート	8Mbps	8Mbps	8Mbps

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。

※ 本機ではファイルサイズが 4GB 以下のビデオファイルが再生できます。

(1) ファイル名とフォルダ名

- 本機で表示できる文字：半角英数字、半角カタカナ、全角文字
- 文字数制限：ディスク
ファイル 全角 25 文字（拡張子を含む）
フォルダ 全角 25 文字
- USB 機器および SD カード
ファイル 全角 80 文字（拡張子は除く）
フォルダ 全角 80 文字
ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えると再生できません。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。
- 使用できない文字：
¥、\、/、:、*、?、"、<、>、|
ファイルには、正しく拡張子を付けてください。ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

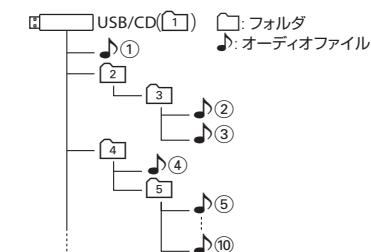
- ディスク：1 フォルダ内の最大ファイル数：999
1 ディスク内の最大フォルダ数：5000
ディスク内の総フォルダ数が 250 以上の場合は、ディスク内の一部のファイルを認識できない場合があります
- USB 機器および SD カード：1 フォルダ内の最大ファイル数：999

1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999
フォルダ階層数に制限はありません。デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

(3) 再生する順番について

- ディスク：ライティングソフトで書き込まれた順
- USB 機器および SD カード：ファイル名の昇順

ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



(4) ご使用上の注意事項

ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (7th generation)*
 - iPod nano (6th generation)
 - iPod nano (5th generation)
 - iPod nano (4th generation)
 - iPod nano (3rd generation)
 - iPod nano (2nd generation)
 - iPod classic
 - iPod touch (5th generation)*
 - iPod touch (4th generation)
 - iPod touch (3rd generation)
 - iPod touch (2nd generation)
 - iPod touch (1st generation)
 - iPhone 5s*
 - iPhone 5c*
 - iPhone 5*
 - iPhone 4s
 - iPhone 4
 - iPhone 3GS
 - iPhone 3G
- * : 音楽再生のみに対応

- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。また、ビデオ対応 iPod を区別する場合には「iPod ビデオ」と呼びます。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。
- 本機でコントロールできる iPod の最新情報については弊社ホームページ <http://www2.jvckenwood.com/cs/car/navi/> でお使いの型名を選び「iPod サポート情報」をご覧ください。

iPod 接続ケーブルについて

本機に iPod を接続するときは、別売の iPod 接続ケーブルが必要です。

- Dock コネクタ (30 ピン) 搭載モデル
音楽を聴く場合：KCA-iP102 (別売品)
音楽を聴く / ビデオを見る場合：
KCA-iP212 (別売品)
- Lightning™ コネクタモデル
接続ケーブル：KCA-iP103 (別売品)
・ Lightning™ コネクタモデル (iPhone5s、iPhone5c、iPhone5、iPod touch 5th generation、iPod nano 7th generation) は、音楽再生のみ対応です。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ハンズフリープロファイル)
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- OPP (オブジェクトプッシュプロファイル)
電話番号などのデータを 1 件ずつ vCard 形式で伝送するためのプロファイルです。
- PBAP (フォンブックアクセスプロファイル)
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP* (高度オーディオ配信プロファイル)
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル)
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (シリアルポートプロファイル)
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.2.1+EDR 準拠

* SCMS-T 対応
(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)

対応コーデック

SBC、AAC



- 動作を確認した携帯電話機については URL をご覧ください。
<http://www2.jvckenwood.com/cs/ce/bt/index.php?lang=japanese>
- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源ハーネスなどの接続が間違っている。	電源の接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画面の明るさが暗い設定になっている。	画面の明るさを調整してください。(→ P.18)
画面が見にくい。	見る角度によって画面の明るさ、色、画質が変わります。	画面の明るさ、視野角、映像の画質を調整してください。(→ P.15、P.18、P.56)
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(→ P.56)
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアビューカメラの設定が“なし”になっている。	CMOS-320を接続しているときはリアビューカメラの設定を“専用カメラ”に、CMOS-220または市販品を接続しているときは“汎用カメラ”にしてください。(→ P.124)
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.94)
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに300か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。(→ P.53)
経由地を設定できない。	すでに4か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。(→ P.47)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の50か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻る場合があります。
自転車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPSアンテナの設置場所が悪い。	GPSアンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。(→ P.104) 初期化してしばらくは自転車位置がずれることがあります。しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自転車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICSの地図表示情報(レベル3)が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICSの地図表示情報(レベル3)を表示できるのは、10m~1km(一般道は10m~500m、一般道の駐車場情報は10m~200m)のスケールです。
	—	VICSの受信状態が悪い場合は、表示できません。オートアンテナをしまっている場合は伸ばしてください。
	VICS局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。(→ P.86)

症状	考えられる原因	対処方法
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が“昼色に固定”に設定されている。	“自動”に設定してください。(→ P.92)
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声案内されない。	ルート案内音声の出力が“OFF”に設定されている。	ルート案内音声の出力を“ON”に設定してください。(→ P.91)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	【現在地】 を押して現在地図画面に切り替えてください。(→ P.21)
	画面がオフになっている。	【現在地】 を押すか、画面にタッチしてください。(→ P.17)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自転車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音量を大きくしてください。(→ P.18)
センサー学習が完了しない。	車速パルスの設定が正しくない。	車種により“アナログ”または“デジタル”に設定する場合があります。
	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自転車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	接続が間違っている。	お買い上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が40°を超えている。	40°以内になるように取り付けなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上に入れて入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	▲を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	▲を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。(→ P.66)
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVDの禁止マーク“Ⓜ”が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.144)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。(→ P.144)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—
	ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが4GB以下のビデオファイルが再生できます。

● 地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。(→ P.63)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器や SD カード内のオーディオ / ビデオファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.144)
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、.、<、>、 ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名: 全角 80 文字 ファイル名: 全角 80 文字 (拡張子は除く) 全角 80 文字以内に変更してください。
	再生モードが録音した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。(→ P.72)

● SD カードへの録音と再生

症状	考えられる原因	対処方法
録音した SD カードが再生できない。	録音データ (kenwood.direct.rec フォルダのデータ) を編集または変更した。	録音データ (kenwood.direct.rec フォルダのデータ) を編集または変更すると本機で再生できなくなります。編集や変更はしないでください。
	再生モードがパソコンで保存した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。(→ P.72)
音楽 CD を SD カードに録音できない。	SCMS によるコピー制限がかかっている音楽 CD を録音しようとした。	コピー制限がかかっていない音楽 CD を使用してください。

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	パスキーまたは PIN コードが合っていない。	Bluetooth 対応機器によっては、パスキーまたは PIN コードが固定されている場合があります。Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたは PIN コードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。(→ P.112) 記載されていない場合は "0000" を試してください。
	Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎる。 他の Bluetooth 機器が通信を妨げている。
	他の Bluetooth 機器と通信中です。または、他のプロファイルで通信中です。	たとえば、電話帳の登録などには、音声がか途切れる場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっている。	通話中に調整してください。

症状	考えられる原因	対処方法
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタル放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更 (リバック) が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。(→ P.63)
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が、現在地周辺の放送局と合っていない。	初期スキャンをし直してください。(→ P.63)
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声がか途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	見通しのいい場所に移動してください。

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本機に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	● iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。 ● iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまで、しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPod の EQ 機能 (イコライザー機能) がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長い場合、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しないで接続してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。接続を確認してください。	地デジアンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPS アンテナに異常があります。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスに異常があります。接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ステアリングリモコンキーの学習ができませんでした。	取付説明書を参照して、ステアリングリモコンの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱い周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC カードが挿入されていません。ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。

メッセージ	対処
ETC カードが読めません。ETC カードが読めません。(02)、(03)、(05)	<ul style="list-style-type: none"> ● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいにふいてから差し込んでください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC がセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC をご利用できません。ETC をご利用できません。(06)、(07)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんので一度操作してください。

● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、CMOS-320 との接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
走行中は調整できません。	リアビューカメラのガイド線調整、および CMOS-320 のカメラ設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。(→ P.144)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声は再生できません。	音声は再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● AV(Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」(または 2 を含むもの) と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。(→ P.66) または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。不要なアルバムを削除してから録音してください。(→ P.81)
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	不要なファイルを削除するか、空き容量の大きい SD カードを使用してください。

● Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のため、これ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は 1000 件 (1 件最大 5 番号まで) までです。不要な電話帳の登録を削除してください。(→ P.117)

主な仕様

● ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	GPS(+MSAS) & QZSS
受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
追従衛星数	最大 16
VICS	FM 多重 (内蔵)

● モニター部

画面サイズ (幅×高さ×対角)	7.0V型ワイド (156.6 × 81.6 × 176.6 mm)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源 (照明方式)	LEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W × 4
スピーカーイン ピーダンス	4 ~ 8 Ω
リアビューカメラ専 用映像入力	端子: RCA × 1 映像入力レベル: 1Vp-p/75 Ω
ビデオ出力	端子: RCA × 1 映像入力レベル: 1Vp-p/75 Ω

● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) (ワンセグ対応)
受信チャンネル	UHF13 ~ 52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz~99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz~1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0 (High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32
最大供給電流	DC5V ≡ 1A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD 部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD ± R/ ± RW/ ± R DL, CD-DA, CD-R/RW, SACD (CD LAYER ONLY)
リージョン番号	2
サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit (直線)
S/N 比	96dB
ダイナミックレンジ	94dB
ステレオセパレー ション	90dB

● 対応メディア

DVD-Video	DVD-R, DVD-RWはVRモードも対応
CD-DA	8cmCD 非対応
CD/DVD 音声	MP3, WMA, AAC, WAV
USB/ SD 音声	MP3, WMA, AAC, FLAC, WAV, Vorbis
映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, OPP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4V (10.5V ~ 16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10 ~ + 60℃
本体	外形寸法 (W × H × D) MDV-D502BTW 206mm × 104mm × 175mm MDV-D502BT 180mm × 100mm × 182mm
	埋込寸法 (W × H × D) MDV-D502BTW 178mm × 100mm × 157mm MDV-D502BT 178mm × 100mm × 159mm
GPS アンテナ	質量 (重さ) MDV-D502BTW 2,600 g MDV-D502BT 2,540 g
	外形寸法 (W × H × D) 36mm × 12.8mm × 33mm ケーブル長 3.5m 質量 (重さ) 85g

● TV アンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アンテ ナケーブル)	4.0m
アンテナ部 (エレメ ント外形寸法)	117.5mm × 86mm
質量 (重さ) (ケー ブル含む)	約 40g (一本あたり)

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない
予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<http://www2.jvckenwood.com/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS からは 045-450-8950
(受付時間などは、裏表紙を参照してください。)

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.148)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
製品を修理のために、お買い上げの販売店または JVC ケンウッド・サービスにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)
技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代: 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

「ダウンロード」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

 is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning is a trademark of Apple Inc.

iTunes and App Store are trademark of Apple Inc.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

「Android™」「Android ロゴ」「GooglePlay™」は Google Inc. の商標または登録商標です。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group. 本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアの一部利用しております。


SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

渋滞ぬけみちデータとして以下の情報を基に作成されています。

- ・株式会社昭文社渋滞ぬけみちデータ

渋滞ぬけみちデータ、まっぶるコードは株式会社昭文社の登録商標または商標です。



 はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

VICS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェアの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

本製品には、株式会社コピキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社コピキタスの商標です。
Copyright© 2014 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



ETC は一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2014 All Rights Reserved.

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

libFLAC

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.